

教科【国語】・種目【国語】

書名 項目	新編 新しい国語	2 東書
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○作品中の表現と関連する言葉を学ぶことを通して、語感を磨き、語彙力を高める工夫がされている。 ○文法教材では、学習の導入としての「文法の窓」と、詳しく解説している「文法解説」の二部構成になっており、文法に苦手意識をもった生徒でもスムーズに学習に取り組んでいける工夫がされている。 ○情報リテラシーや言語活動のコラムが充実しており、実生活やストーリーを通して、断片的でなく日常生活に生きる言語の習得ができるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の終末に「言葉の力」という単元で身に付けたいことが明記されており、学習者が見通しをもったり振り返ったりしやすいようになっている。また、それが3年間を通して系統的に学べるような教材の配置がされている。 ○「文学的文章」は色あせない不朽の名作はもちろん、現代の子どもたちの感性に寄り添い、深い思考力を育む魅力ある新教材が使われていることで幅広い読解力を養うことができる。 ○「話す・聞く」「書く」の領域も内容が豊富で、日常生活を例にしたイラストやストーリーから学習に入っていけるようになっており、目的に応じたスキルがまとめられている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様なテーマの教材に触れることで、学習者の興味関心や、広いものの見方や考え方を養うことができる。 ○教科書全体を通して問題解決的な言語活動が多く設けられ、学習者どうしで協働して学びを深められる工夫がされている。 ○各教材に「未来を考えるための9つのテーマ」が示されており、国語の学習を通して自分の未来や社会について考えられるように工夫されている。 <p><言語感覚を豊かにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本語の特徴や文法、漢字について理解を深める「日本語探検」「文法の窓」「漢字道場」や、巻末の「資料編」により、多くの語に出会い、言葉の使い方を判断したり、言葉の味わいを捉えたりすることができるように工夫されている。 <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○随所に「読書案内」や「読書と情報」などの充実が図られ、生徒が進んで読書をし、人生を豊かにする態度を養う工夫がされている。また、著名人の推薦本も紹介されており、生徒の多様な興味に応えられるような配慮もある。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○豊富な図版やイラストを用いて学習者の興味を引き付ける工夫がされている。 ○教科書の終末に「資料編」が設けられており、「原稿用紙の使い方」や「要約の仕方」「思考のヒント（思考ツール）」、古典の名作など、各領域において学習者が主体的に学べる資料が掲載されている。 	
表 記 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○小中の接続をスムーズにするため、1年生の最初の教材は小学校と同じ書体・大きさを用いている。 ○色使いやフォントなどインクルーシブ教育やユニバーサルデザインの配慮がされており、すべての学習者にとって、重要な部分の認識や学習の流れの理解がしやすいようになっている。 ○生徒の多様性を意識しながらキャラクターや表記の仕方にも配慮がされている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、明らかになった課題を意識して「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の手引きが設定してあったり、SDGs等の現代的な諸課題に対する教材が豊富に取り扱われていたりする。 ○三領域の多様な教材を用い、三年間で確実に言葉の力が身に付くよう、教材配置など系統性を大切にして作られている。 	

教科【国語】・種目【国語】

<p>書名 項目</p>	<p>現代の国語</p>	<p>15 三省堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○初めに、領域別教材一覧において、その教材で身に付けたい力が明確に示されている。 ○「語彙を豊かに」では、言葉の違いによる、聞き手が受ける印象の違いや、教科書に掲載されている言葉と似た言葉を掲載していたり、漢字の単元に「漢字クイズ」が設定されていたりするため、言語知識を深めやすくするための工夫がされている。 ○巻末には、1年生から3年生まで、共通の内容が掲載されているものもあるので、学年が変わっても、大事なことをその都度、何度も確認できるようになっていて、習得できるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「学びの道しるべ」「読み方を学ぼう」によって、学ぶべき内容の確認、このように読んでいくと、内容が理解しやすくなるという手順が示されている。 ○SDGsなどの諸問題を取り上げた教材が多く設定され、その問題をどう捉え、解決していくかという力を付けるための単元が豊富である。 ○「読むこと」の教材文に関連した内容を「書くこと」の内容に反映させるなど、「読むこと」と「書くこと」を結び付け、多面的な思考を促している。書く活動では、学習者が自身の体験を振り返りながら、思考を深められるよう工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○コラムが充実しており、言葉がもつ力やそれぞれの作品がもつよさなどが紹介されていることで、言葉を大切にする態度を養う工夫が見られる。 ○各学年の巻末資料に、対義語や慣用句などテーマを設けた語彙の資料や、手紙の書き方・話し合いの仕方といった日常生活に必要な内容が一覧で掲載されている。</p> <p><言語感覚を豊かにするための工夫> ○我が国の言語文化について扱う「言葉発見」「文法の窓」「漢字のしくみ」や、巻末の「資料編」により、多くの語に出会い、言葉の使い方を判断したり、言葉の味わいを捉えたりすることができるように工夫されている。</p> <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫> ○「読むこと」の教材ごとに「私の本棚」が配置されている。資料編「読書の広場」が設けられ、小説や説明文、古文などが紹介されている。 ○1年で私が選ぶ一文の紹介、2年でビブリオバトル、3年でブックトークに取り組み、社会生活とつながる読書活動が取り入れられている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○解説動画など、多数の動画で内容が理解しやすい。 ○巻末には、原稿用紙の使い方等、学力検査等でも必須になってくるものが、全学年同じ内容で掲載されている。以前の学年の教科書がなくても、確認できるのが良い。</p>	
<p>表 記 ・ 表 現</p>	<p>○比較的余白を大きめにとっているため、見やすい印象を受ける。 ○各学年で統一された色合いで構成されていて、見やすい印象を受ける。 ○読みやすく、学びやすい独自のフォントを採用したり、上段、下段で情報を区別したり、重要なワードは強調されていたりするため、スムーズな学習ができる。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○コラムや歌詞などを豊富に取り入れることで、学習者の多様な興味関心を引きながら語感や感性の滋養を促す工夫がされている。 ○語彙、文法、表現に関する項目も充実しており、正しい言葉の理解を求め、確かな力を身に付けようとする工夫が見られる。</p>	

教科【国語】・種目【国語】

<p>書名 項目</p>	<p>伝え合う言葉 中学国語</p>	<p>17 教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習指導要領の「情報の扱い方に関する事項」に対応し、「情報・メディアと表現」で写真や広告を扱い、情報の扱い方や活用する力などの情報活用能力を育成する教材を多数掲載している。 ○古典作品に親しませるために、落語、歌舞伎、狂言などの伝統芸能を紹介している。3年では、「古典文法活用表」を掲載し、高等学校の古典学習への接続が図られている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「言葉の地図」で、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語」それぞれの学習内容と身に付けたい言葉の力が図式化されている。 ○「話すこと・聞くこと」の「学習活動の流れ」には言語活動が設定され、言語活動で大切にしたいことが「ポイント」に簡潔にまとめられている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「目標」とともに教材の読み方や読むときの観点、学習活動のポイントがつかめる「学びナビ」を本文の前に据えられていることで、「何を学ぶか」、「どのように学ぶか」という目的意識をもって学習に取り組むことができる。また、「みちしるべ」の3つのステップ「①内容を捉えよう」「②読み深めよう」「③自分の考えを伝え合おう」は、「深い学び」に導く手段を提示している。 ○SDG sに関わる教材が全学年に設置され、また、1年間の学習内容と身に付けたい言葉がSDG sと関連付けて示されており、「深い学び」につなげられるような配慮がされている。</p> <p><言語感覚を豊かにするための工夫> ○「言葉の小窓」「文法の小窓」「漢字の広場」、巻末付録「言葉の自習室」で多くの言葉に出会い、言葉の使い方を判断したり、言葉を味わったり、語感を磨いたりする工夫がなされている。</p> <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫> ○引用のしかたや、図書館・インターネット利用上の注意点、1年生の本の帯やポップ作り、2年生の図書館の活用、3年生のビブリオバトルなど、読書活動についての説明を載せている。 ○作者や筆者、教材のテーマに関連する図書を数多く紹介している。また、高等学校の学習で触れることになる作家や作品に親しむことができるページがある。 ○単元ごとの「広がる本の世界」や、教材「読書への招待」を掲載し、日常の読書生活を豊かにするための工夫がなされている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○「まなびリンク」(二次元コード) から多様なデジタル資料に触れることができ、自主学習にも役立つ資料が閲覧できるようになっている。 ○表紙、中身とも淡い色調で、文字は読みやすく、「学習意欲を高めるもの」「文章理解を助けるもの」「想像力を膨らませるもの」「活動の具体的な手助けになるもの」など、学習するうえで必要なものを挿絵・図版・写真などで効果的に示している。</p>	
<p>表 記 ・ 表 現</p>	<p>○小学校からの接続を考慮し、1年生と2・3年生ではフォントの大きさを変え、全ての学年で字詰め、行数など読みやすくする工夫をしている。脚注を広くとり、行間にも幅をもたせているので読みやすく書き込みもしやすい仕様になっている。 ○ユニバーサルデザインに対応した書体を採用しており、見やすくなっている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○生徒の自覚的な学びを促すための「学びナビ」があることで、習得すべきものが明確になり、主体的に学習が進められるように工夫がされている。 ○1年生では、小学校の既習事項の復習ができる教材を掲載しており、社会生活に生かせる言語活動や評論文を掲載している。</p>	

教科【国語】・種目【国語】

<p>書名 項目</p>	<p>中学校国語</p>	<p>38 光村</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○語彙ブックを設け、描写・言動・思考に資する語句や語型・文型の整理を紹介している。 ○語彙を豊かにするには、語彙を広げ、五感を磨くことで、自分の思いや考えを的確に表現し、相手や目的に応じて適切な言葉を選ぶ力の伸長を図っている。 ○古典の世界では、3年間で学習する古典を見通し、現代に生きる生徒たちが古典を学ぶ意義を理解することで、学習意欲の向上を図っている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○視野を広げたり、多角的なものの方・考え方を養ったりできるように、生物、社会、言語など多岐にわたる分野に取材したテーマが取り上げられている。 ○レポート、案内文、プレゼンテーションなど多種多様な言語活動を設定し、体験を通して、その特性や効果を蓄積できるようにしている。 ○QRコードでスピーチや話合いの様子を動画で視聴することができる。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭に、1年間の学習と身に付ける資質・能力が俯瞰できる「学習の見通しをもとう」を設け、生徒が主体的に学習の見通しをもったり、既習事項を確かめて次の学習に生かしたりすることができるように工夫している。 ○さまざまな話題・題材を扱うことで、自然や社会に関する幅広い知識・教養に触れ、真理を求める態度を育むことができる。</p> <p><言語感覚を豊かにするための工夫> ○「言葉を味わう」ことを深めるため、各教材のあとに「言葉」「文法への扉」「漢字」を配置していることや巻末の「語彙ブック」「資料編」により、多くの語に出会い、言葉の使い方を判断したり、言葉の味わいを捉えたりすることができるように工夫されている。</p> <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫> ○「読むこと」の教材ごとに「広がる図書」が設けられており、そこには読書単元が2つ設定され、テーマ別の本の紹介、読み比べにつなげられるように工夫されている。 ○各学年で「読書を楽しむ」「本の世界を広げよう」が設けられ、「読書を楽しむ」では1年でポップ作りや読書会や読書記録、2年でブックトークやポスター作り、3年でブックレビューなどに取り組み、社会生活とつながる読書活動が示されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○QRコードを活用することで、作者・筆者へのインタビューや資料動画を掲載している。また、新出漢字にも音訓・用例・筆順を示している。 ○挿絵や写真、図・グラフは、文章と合わせ情報として読み取るもの、理解をつけるもの、イメージを広げるものなど、目的に応じて効果的に活用できるよう配慮している。</p>	
<p>表 記 表 現</p>	<p>○全学年にわたって統一し、適切な表記が身に付くように配慮している。 ○新出漢字は、常用漢字の中でも使用頻度の高いものから学習できるようにしている。 ○色覚特性に対応するため、色調にも配慮している。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○個別最適な学びの実現を図るためにQRコンテンツを多数収録している。(筆者のインタビューや実際のスピーチ動画、発展問題など) ○話すこと・聞くこと、書くこと、および読むことの領域の手引きでは、学習の流れをステップで示し、ポイントを焦点化することで活動内容と身に付けるべき力が明確に理解できる紙面構成となっている。</p>	

教科【国語】・種目【書写】

書名 項目	新編 新しい書写	2 東書
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習のポイントを焦点化し、効率的・効果的に学習を進めるために、「書写のかぎ」というまとめが示されている。 ○筆の動きが分かるように運筆の跡を点線で示したり、筆先と筆の根本を色分けしたもので示したりしている。 ○教材にQRコードを載せ、動画でも筆の動きや書く速さなどが分かるようになっている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○どの筆記具を使うとどんな特徴の文字が書けるかなど、場面や目的に応じて使い分ける資料などが充実している。 ○本時で学習したことを生かして別の文字を書くことで、日常生活に生かす振り返りになるような工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○手紙や年賀状、本のポップ作りなど、日常に生かす活動が豊富に示されている。 </p> <p> <毛筆と硬筆との関連> ○各単元で「見つけよう」で硬筆から課題を意識させ、「確かめよう」で毛筆の点画の書き方を確かめる流れになっている。 ○「生かさう」という硬筆教材を設定し、毛筆で学んだ文字の配列や点画の連続・筆順の変化等を、硬筆で生かせるようにすることで毛筆と硬筆の関連が図られている。 </p> <p> <各教科や日常生活との関わり> ○各学年、「生活に広げよう」という項目で、1年「依頼状、お礼状の書き方」、2年「本のポップを書こう」、3年「思いを文字で表そう(作品づくり)」等を課題として、生活の様々な場面を通して、日常生活との関わりが示されている。 ○巻末資料「書写活用ブック」と関連付けながら、他教科にも生かせる「新聞づくり」「レポートの書き方」等も学べるようになっている。 </p>	
資 料	<p> ○左利きの学習者への配慮や、特別支援教育への配慮もされた資料になっている。(手本を左ではなくて上に配置) ○「文字といっしょに」というコラムでは文字文化への興味関心を喚起し、身の回りにある文字について、新たな視点で考えることを促している。 ○「書写活用ブック」という資料では、手紙や封筒入学願書やのし袋の書き方や常用漢字(楷書と行書)など、充実した内容の資料が載っている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○書体は手書きの文字に近づけた、特別な明朝体を使用している。 ○運筆のイメージを言語化し、学習者が言語でもイメージしやすいような表記の仕方になっている。 ○色覚多様性の学習者にも配慮し、カラーユニバーサルデザインに則って配色している。 ○情報を整理し、大事なところがひと目で分かるよう工夫されている。 </p>	
総 括	<p> ○文字を書く時のポイントをひと目で分かりやすくまとめ、学習者が意識して学習に取り組めるような工夫がされている。 ○様々な方法で運筆のポイントや様子を学べるようになっている。 ○書写を日常に生かすための活動や、文字文化がどう社会で使われているのかなどのコラムが充実している。 </p>	

教科【国語】・種目【書写】

書名 項目	現代の書写	15 三省堂
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「学習のはじめに」では、小学校で学習した内容を、再び確認することができる。 ○書き込みができるページが充実している。 ○全ての教材に「学習目標」と「振り返り」が設定されており、「書き方を学ぼう」では、学習の要点を押さえることができる。また、いくつかある要点を1つ絞り、練習に取り組むことで、その日の学習目標が達成しやすいような工夫がされている。 ○二次元コードで参考資料を閲覧することができる。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○横書きで書かれた文章を、適切な文字の大きさや配列を考えながら、縦書きに書き直したり、実際に日常生活の場面を設定し、楷書や行書のどちらの書体が求められているかを考えながら書いたりするなど、実践的な力の定着が図られるようになっている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○小学校・高校との連携及び、基礎的な知識や技能を身に付けるための豊富なデジタルコンテンツが用意され、書道への幅広い興味をもたせることが期待できる。 </p> <p> <毛筆と硬筆との関連> ○毛筆で習得したことを硬筆に生かすための、書き込みページが設けられている。これにより、繰り返し書いて習得することができるようになっている。また、要点ごとに幾つかの文字を練習できるため、より実践的に意識して書くことができるようになっている。 </p> <p> <各教科や日常生活との関わり> ○県名などの練習ができる。 ○実際に手紙の書き方の練習、新聞、情報誌、便箋と封筒、葉書、年賀状、送り状、のし袋、願書、原稿用紙の書き方見本があるので参考にできる。 </p>	
資 料	<p> ○巻末資料「日常の書式」には、手紙やはがきの他に、送り状、のし袋、願書、原稿用紙の書き方が掲載されていて、「書写の広場」には、文房四宝、常用漢字表や、楷書や行書の一覧表が掲載され、主体的に学べるような毛筆補助教材が加えられている。 </p> <p> ○各学年、淡い色合いで統一された構成になっていて、一目でわかりやすい資料構成となっている。 </p> <p> ○原寸大葉書の例があると同時に、原寸大葉書に練習ができるように工夫されている。 </p>	
表 記 表 現	<p> ○各教材が見開きで構成され、学習すべき内容が一目でわかるように工夫されている。 </p> <p> ○説明や指示が端的に表現されており、字間・行間も適切にとられ、読みやすくて学びやすいレイアウトになっている。 </p> <p> ○ユニバーサルデザインの視点から、識別しやすい配色や、重要な文字は大きさやフォントを変えるなどの工夫がされている。 </p>	
総 括	<p> ○書写を社会生活に生かすことを目指した構成になっている。 </p> <p> ○単元の目標が明確されており、それを意識しながら実際に書いて定着できるようになっている。 </p> <p> ○持ち方等について、ICTを活用した形式になっている。 </p>	

教科【国語】・種目【書写】

書名 項目	<h2>中学書写</h2>	17 教出
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「学習の進め方」では、ハンシーとスズリーというキャラクターが「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」という学習の過程を案内し、学習の流れをつかみやすくしている。また、書写学習に対して楽しいイメージをもってもらうような工夫がなされている。 ○毛筆学習では、基本点画の種類とともに、朱墨と薄墨で筆使いが確かめられるようになっている。運筆のしかたを矢印で、穂先の置き方をイラストで示し、筆の軸、筆圧、字形についてもポイントとなる事柄が写真や図を用いてわかりやすく解説されている。 ○「書写テスト」で、3年間で学習したことが身に付いたかどうかを確かめることができる。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○扉の「目的に合わせて書こう」では、学校生活や日常生活において手書き文字で伝えるものを写真で紹介している。 ○行書の学習の導入に、年賀はがきや表札、看板など、行書で書かれた身近なものが挙げられ、行書で書くことの抵抗感をなくすための工夫がなされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学習に役立つ豊富な情報を「まなびリンク」で見ることができ、自主学習でも活用できる。 ○話し合い活動の際に入れてほしい「書写の学習用語」を載せ、意義のある話し合い活動が円滑に進むような工夫がなされている。 ○「試し書き」で書いた文字と教科書の文字とを見比べ、自ら課題を設定できるようになっている。あとの「振り返ろう」で自己評価（○=できた、△=もう少し）ができるようになっている。 </p> <p> <毛筆と硬筆との関連> ○毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を豊富に設定している。硬毛の密接な関連を図りながら、毛筆での学習が硬筆に生きるよう工夫されている。 </p> <p> <各教科や日常生活との関わり> ○国語の学習教材との関連を図るため、1年「竹取物語」、2年「枕草子」「平家物語」、3年「おくのほそ道」を配している。また、理科の観察レポート、本の帯やポップ、ポスター、新聞、案内状など、各教科や社会生活において活用できるものを豊富に載せている。 ○「芸術としての書道」で、高等学校の「芸術書道」への円滑な接続を図っている。 ○8つのコラムでは、「文房四宝」を初めに、「書くことの変遷」を終わりに載せ、自分の思いを手書き文字で伝えることのよさを改めて考えさせる内容になっている。 </p>	
資 料	<p> ○「さまざまな筆記具」が紹介され、目的や場面に応じた使い方を知ることができる。動画では、書き方を視聴することができる。 ○楷書と行書を示した漢字一覧表は、部首別索引になっており、生徒にとって引きやすい工夫がなされている。 ○補充教材集には、各学年に書き初めの手本が挟まれ、画仙紙に対応した大きさになっている。 ○「書式の教室」では、手紙、封筒、一筆箋、はがき、包み紙、原稿用紙、小包伝票、願書、志願理由書、案内文など、生活に役立つ豊富な資料を掲載している。 </p>	
表 記 表 現	<p> ○平易で簡潔な文章表現で統一されている。運筆方法については具体的な言葉で書かれ、ポイントを赤の太字で示すなど、要点がわかりやすいよう配慮されている。 </p>	
総 括	<p> ○自分の課題について考え、解決方法を見通し、仲間と対話しながら書写の授業で学んだことを普段の書く活動に生かしていけるような構成になっている。 </p>	

教科【国語】・種目【書写】

書名 項目	<h1>中学書写</h1>	38 光村
内 容	<p> <知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○目次に中学校3年間の目標を掲げ、新たな学習事項である行書の学習に見通しをもてるように工夫している。また、全教材に「目標」及び「振り返ろう」を設定し、知識・技能の定着や自己の変容を確かめられる構成としている。 ○「書写ブック」で、硬筆の課題に取り組みせ、毛筆での学習の定着につなげている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「考えよう」で、文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする活動を設定し、対話を通して主体性や思考力・判断力・表現力を養えるように配慮している。 ○「生かそう」で、場面や目的に応じた効果的な文字の選択について、実際になぞったり、書き込んだりすることで学習し、実生活に生かせるよう構成が工夫されている。 ○手書きとデジタルを比較し、それぞれの良さについて考える教材「手書きのよさって、何だろう」を新設し、手書きの価値について考えを深めることができる。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各単元は「考えよう」「確かめよう」「生かそう」で構成され、学習のポイントが「学びのカギ」で示されて、生徒が見通しを立てて主体的に学習に取り組めるようになっている。 ○「振り返ろう」が、各単元の学習目標の下にあり、目標に正対した内容を意識して振り返ることで、自らの変容を確かめられるよう工夫されている。 </p> <p> <毛筆と硬筆との関連> ○基本点画を毛筆で学習した後で、学習したことを生かして硬筆で書く「生かそう」という教材が取り入れられている。 ○毛筆で学習したことを日常に生かして硬筆で書く「書写ブック」という教材が設けられ、毛筆と硬筆を繰り返し学ぶことで「書く力」が身に付くよう工夫されている。 </p> <p> <各教科や日常生活との関わり> ○「日常に役立つ書式」や「国語・学校生活」の項目で、冊子の書き方や職業ガイド新聞等の活用例が示され、日常生活との関わりが示されている。 </p>	
資 料	<p> ○巻末で「日常に役立つ書式」「書き初め手本」等が取り上げられている。また、随所にコラムが設けられ、写真やイラストと解説を交えながら文字と生活との関連を示している。 ○左利きの生徒の学びやすさを考え、左手で書く時の手や用具の位置を示した写真を掲載している。さらに、QRコードから読み取れるコンテンツとして、運筆等の学習に役立つ動画が見られるようになっており、左利きの生徒用の教科書紙面や動画も記載している。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○見開きで学習目標や学習内容、学習の流れがつかめるようになっている。 ○「始筆・送筆・終筆」が「トン・スー・トン」や「ぴよん、ぴた」で示され、リズムでも意識させる運筆指導になっている。 ○書き込み欄が充実しており、繰り返し学習できるよう紙質も考慮されている。 </p>	
総 括	<p> ○個別最適な学びの実現に向けて特別支援教育や色覚の多様性などの配慮を行い、誰でも読みやすい工夫が施されている。それにより、学びへの意欲を高め、主体的・対話的で深い学びへの実践準備が整っている。 ○「書写ブック」で、毛筆での学習を硬筆に生かし、定着できるよう工夫されている。自社の国語教科書と連動した教材が各学年に設けられている。 ○学びが生活と結びつくような工夫として防災ポスターやSDGsなどと絡めている。それにより、生徒や教員も書写を学ぶ意義とともに再確認できるようになっている。 </p>	

教科【社会】種目【地理的分野】

書名 項目	新編 新しい社会 地理	2 東書
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「導入」「展開」「まとめ」の各学習活動で、最適な QR コンテンツへの迅速な接続が実現され、生徒個人の知識及び技術を習得する手段が拡充されている。 ○「スキル・アップ」を活用することで、地図やグラフの読み取り方について基礎・基本を身に付けることができるよう工夫が見られる。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「資料から発見！」のページを中心に、複雑な情報を視覚的に理解しやすい形で提供するインフォグラフィックが活用されており、資料を読み取る力や考える力、説明する力を育成するために効果的な役割を果たしている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見開きページに「導入資料」「学習課題」「本文」「チェック&トライ」が順番に掲載されており、1時間の学習に見通しがもてる。そのため、問いを中心に構成された各単元において、生徒の知的好奇心が喚起されやすい工夫が見られる。 <p>＜課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでよりも各単元の「学習のまとめ」のページが、課題を解決する活動のツールとして最適化されている。生徒にとっても教員にとっても流れがわかりやすく双方の立場から見ても活用しやすい工夫が見られる。 ○章末には、探究課題を深めることができるような様々な思考ツールが例示されており、生徒の課題追究活動を補助している。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○新設された「世界の窓」のように高品質な地図、図表、写真が豊富に掲載されており、視覚的に分かりやすい教材となっている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○資料はカラーユニバーサルデザインに全対応、すべての文字が読み間違いにくいユニバーサルデザインフォント、全体的に不要な陰影などが無いシンプルな表現になっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○「地理のミカタ」をはじめ新設されたコンテンツが豊富に用意されているため、場面に応じて最適な使用ができれば、これまで以上に多様な学びを生徒に提供できると考える。 ○単元ごとの学習課題を提示し、それらを深めるための資料や活動が的確に掲載されているため、多角的・多面的な視点から地理的事象を深く理解することができるようになっている。 	

教科【社会】種目【地理的分野】

書名 項目	中学社会 地理 地域に学ぶ	17 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 教出 </div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「地理の技」コーナーでは、生徒に身につけさせたい地理的な技能が明確になっている。また、技能の習得に適したQRコンテンツが用意されているため、生徒はより実践的な学習ができるようになっている。 ○各単元の始めに、単元の特色を示す資料が多数提示されていて、学ぶ内容を概観できるようになっている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○特設ページの「クロスロード」が教材として優れている。世界や日本の地誌の学習をもとにして多様な視点から地域をとらえるコンテンツが豊富であるため、地理的な見方・考え方を働かせた学習の実現が可能であり、地理的な思考力・判断力の育成につながると考える。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○導入ページとまとめ・振り返りページに共通してSDGsのアイコンがちりばめられており、生徒の地球的課題に対する関心を高め当事者性がはぐくまれることで、学びに向かう力の動力源になると考える。 </p> <p> <課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○単元ごとに設定された「問い」に基づいて学習していくことで、自然と課題解決的な学習になる構成となっている。 </p>	
資 料	<p> ○写真、地図、グラフの資料がバランスよく取り入れられ、本文の内容が理解しやすくするような工夫が見られる。 ○写真資料が大きく、本文の内容が短めで構成されている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○資料はカラーユニバーサルデザインに全対応、すべての文字が読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントになっている。 ○学習内容のタイトルに工夫がされているため、生徒の好奇心を喚起させる表記になっている。 </p>	
総 括	<p> ○単元構成に優れている。特設ページのクロスロードの内容は、生徒の地理的な見方・考え方を働かせる工夫として効果的である。各学習内容をSDGsと最も関連付けている教材である。 ○導入の課題に対して、各単元の発問がしっかりと筋道を立てられているため、自ずと解決できるような構成になっている。 </p>	

教科【社会】種目【地理的分野】

書名 項目	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	46 帝国
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「イラスト地図」を筆頭に地理の教科書として重視されている地図の質が高く、我が国の国土や世界の諸地域の特色を着実に理解して、知識として定着させるための工夫がみられる。 ○デジタルコンテンツが充実しており、用語を調べたり追加の資料を得たりして、より深い理解ができるような工夫が見られる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新設された「見方・考え方アイコン」では、実際の調査に基づく具体的事例が多く掲載されており、思考・判断・表現の力を育成する手助けになっている。 ○1時間当たりの終わりに「確認しよう」「説明しよう」が用意されていて、学習内容を確認し、自分の言葉で説明させる機会を設けている。 ○「見方・考え方アイコン」で、実際の調査に基づく具体例が示されているため、それを基に議論を行うことができるような工夫が見られる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○掲載されている写真の多くが現地取材を行い、単元の学習に即した厳選されたものになっているため、生徒の知的好奇心を喚起する工夫がみられる。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新設された「アクティブ地理」を中心に教科書全体に「対話アイコン」が配置されている。そのため、単元内で課題解決型の学習を取り入れやすい。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコンテンツから閲覧できる統計資料は、毎年情報が更新されており最新のデータにアクセスできるため、現状に即した学習が可能になっている。 ○地図の資料が充実しており、見やすさや掲載内容などを精選した様子が見える。 	
表 記 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○本文には「～結果」「そのため」「このような背景から」等の文言が効果的に配置されており、それぞれの社会的事象の因果関係に工夫が見られる。 ○資料はカラーユニバーサルデザイン、文字はユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ○デジタル教科書ではユーザーが幅や背景の色の変更などができるよう工夫が見られる。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○QRコンテンツ（オンラインリソース）やデジタル教材が豊富で、生徒のインタラクティブな学習が促進される要素が多い。 ○本文と資料がバランス良く配置されていて見やすい構成となっている。 	

教科【社会】種目【地理的分野】

書名 項目	中学社会 地理的分野	116 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 日 文 </div>
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「スキルUP」「資料活用」コーナーでは、フィールドワークや実地調査の方法についての具体的なガイドラインが提供されていて、実践的な学習を通して地理的技能的の定着が図れるよう工夫されている。 ○生徒が記入する欄が多めに用意されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まとめ・振り返りページの「自分の考えをまとめよう」では、3段階のステップに活動が分かれており、思考を整理して表現しやすい工夫がされている。 ○各ページに「学習課題」と「見方・考え方」を載せており、どんな観点を持って考察していくのかが分かりやすいように工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的な諸課題（ロシアのウクライナ侵攻などの重要な最新のトピックやグローバル化を意識した多様性について考えさせられる教材など）を積極的に取り上げているため、生徒は地理的分野を学ぶ目的が明確になり、主体性が生まれやすい工夫が見られる。 <p>＜課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現代的な諸課題の教材が豊富なため、各課題を解決し、持続可能な社会をつくるための手立てを自分事として考えていく活動ができるよう工夫されてる。 ○デジタルコンテンツで節ごとにポートフォリオが用意されており、各時で学習した内容をまとめ、一目で把握できるようになっている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○地理的な特徴や事象を具体的にイメージしやすいように、多くの写真やイラストが掲載されている。 ○色合いや記載内容がシンプルで見やすいようになっている。 	
表 記 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○資料はカラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ○簡潔で明瞭な文章表現が多く、多くの生徒に理解しやすいよう工夫が見られる。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○現代的な諸課題を積極的に取り上げているため、持続可能な社会の実現に向けた課題解決型の学習に重点を置いていることがうかがえる。 ○教科書の資料やデジタルコンテンツを活用することで、生徒が主体的に課題解決に向けて取り組めるような工夫が多くみられる。 	

教科【社会】種目【歴史的分野】

書名 項目	新編 新しい社会 歴史	2 東書
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○教科書の始めのページに、時期や年代の表し方を理解する内容があり、大きな流れをつかむ学習ができるような工夫がある。歴史の捉え方ができるように、西暦、世紀、元号、時代区分の表し方や年表の見方を学習する内容がある。 ○QR コードを読み取ることで、教科書の資料を拡大して見ることができる。細部まで確認できない資料も ICT 機器を活用して読み取り、資料を読み取る力の定着を図ることができる工夫がある。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「時期や年代」、「推移」、「比較」、「相互の関連」、「現在とのつながり」の5つの歴史をとらえる見方・考え方を取り上げている。その見方・考え方を取り上げることができる歴史的な事象をより深く理解しながらも、思考力・判断力を高めることができる工夫がある。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各ページに学習意欲をかき立てるサブタイトルがあり、本時の学習課題につなげる工夫が見られる。 ○「1時間の学習の流れ」が分かるデザインの教科書構成であり、各ページの上部には、導入に活用できる資料が提示してある。 </p> <p> <課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各章末のページには、まとめの活動があり、「確かめよう」「ふり返ろう」「深めよう」の3つのステップで多様な意見に触れながら学習を進め、自分の考えを調整したり、まとめたりすることで、多面的・多角的に考察したり、公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことができる工夫が見られる。 </p>	
資 料	<p>○資料の配置、資料と本文との関係には、本時の導入に活用できる魅力的な資料が上部にあることで、生徒の「なぜ」を引き出す学習課題につなげやすい。また、その学習課題にせまるにあたり、ヒントになる資料がページの左右に提示してある。本文は見開きページの中央よりであり、本文との関連を左右の資料と連携していることが分かる工夫が見られる。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○学習効果を高めるために、紙面の上部に本単元の内容に迫る大きな資料が提示されており、カラー刷りで解説がある。歴史人物のイラストを交え、その人物に関わる出来事が紹介されている。また、紙面の左右には、条約や命令等の文章が明記されており、学習課題を考えるための参考になる工夫が見られる。</p>	
総 括	<p>○各ページに QR コードを載せ、ICT 機器を活用して、生徒が主体的な学びができるような工夫が見られる。また、そこで得られた知識を基に、単に歴史的な事象を学ぶだけでなく、学習課題を考えるための多面的・多角的な視点に立てる問いの提示が見られる。</p> <p>○社会科の3分野の関わりだけでなく、他教科との横断的な学習につながるような工夫が見られる。</p>	

教科【社会】種目【歴史的分野】

書名 項目	中学社会 歴史 未来をひらく	17 教出
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各章末にある学習のまとめと表現で、年表等で学びを整理しながら、基礎基本知識定着を図ることができる工夫が見られる。 ○「歴史の技」という特集では、QRコードを読み取り、身につけさせたい技能を高める工夫が見られる。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「だれが」「いつ」「どこで」「何を」「どのように」「なぜ」といった歴史的な見方考え方を働かせて考える問いを各単元で設定し明確に表す工夫が見られる。 ○TRY!やTHINK!では、内容に踏み込む問いを提示することで、思考力や表現力を高める工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○章の始まりのページに単元を通して、課題解決学習を進められるように見通しが明確にしてある。 ○ICT機器を活用する「学びリンク」から。動画や関連するHPを視聴して、意欲的に学習を進めることができる工夫がみられる。 </p> <p> <課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○単元を貫く課題を提示し、節ごとの問いを立てることで見通しを持たせている。その時代の年表、登場する場所の地図を示し、代表的な資料を見開き2ページを使っている。 ○身近な地域の歴史を調べよう、歴史を探ろうのページでは、身近な地域の歴史について調査しまとめる学習の事例が挙げられており、自分事として捉えながら課題追求学習をすることができるようになっている。 </p>	
資 料	<p> ○学習効果を高めるために、導入資料や中心となる資料が、教科書左上部にあり学習のきっかけや追求の中心となるよう工夫が見られる。 ○教科書にある資料には、小学校との接続が分かるような表記がある。 ○国宝や世界遺産であることが分かるように資料に明記してある。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○難解語であっても、側注に用語解説があることで理解しやすい表記になっている。 ○各節のまとめをする際に、教科書下部のキーワードを使えるように工夫が見られる。 ○他教科、他分野との接続・連携が分かるように、教科書下部に記してあり、横断的な学習ができるような工夫が見られる。 </p>	
総 括	<p> ○歴史の年表が、教書上部にあることで毎時間の学習内容がどの時代を示すものなのかをすぐに確認できるよう工夫が見られる。 ○各ページのタイトルに学習内容を象徴する言葉を使っていることで、1時間の学びに興味を引きつけやすい工夫が見られる。 ○学習課題を追求することができるような工夫が見られる。 </p>	

教科【社会】種目【歴史的分野】

書名 項目	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	46 
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書の左右に記載してあるコラムからは、人物史や地域史、社会史、地域史などの様々な視点で歴史への理解を深めることができる工夫が見られる。 ○構造化された紙面構成によって、学習内容への理解を深め、知識を定着することができる工夫が見られる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しと振り返りがしやすい単元構成になっており、「学習を振り返ろう」では、思考ツールや対話的な学びを通して、章の問いに取り組み、単元の学習を振り返ることができる工夫が見られる。 ○考えを整理する方法として、思考ツールを活用して効果的に学びを深めていく工夫が見られる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各時代の始めに置かれた「タイムトラベル」では、イラストを通じて、当時の社会の様子を読み取り、その時代に対する興味や関心を高めることができる工夫が見られる。 ○学習する時代の見通しをもたせるために、既習事項をもとに、時代や社会の変化を予想し、それを記入する欄が設定してある。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○特設ページ「アクティブ歴史」では、具体的なテーマを設定した活動型の学習を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるような工夫が見られる。時代の特色やその背景を考察するパフォーマンス課題を設定している。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○資料活用アイコンや地図帳活用アイコンを活用して、地図帳、統計や写真などから情報を読み取り、他分野との連携を図りながら読み取る力を養うことができる工夫が見られる。 ○学習効果を高めるために、年表が教科書の各ページの右部にインデックスであり、その時間の学習内容がどの時代を示すのかが明確に分かるような工夫が見られる。教科書右部のインデックスで分かるようになったことで、他のページの学習内容と比べやすい。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○時代像イラストや理解しやすい本文、ビジュアルな資料が表記してある。 ○教科書上部に、節の問いを設け、学習の見通しができるような工夫が見られる。 ○他教科、他分野との接続・連携が分かるように、教科書の下部に記してあり、横断的な学習ができるような工夫が見られる。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びが実現できるように単元構成が構造化してあり、学習の流れが可視化してある。 ○各章には大きなイラストがあり、そこから各時代の社会の様子を歴史的な見方・考え方を働かせながら、意欲的に学びに向かうことができるよう工夫がある。 ○写真や条文などの資料だけでなく、イラストを多用することで、見やすさや分かりやすさを感じる表記になっている。 	

教科【社会】種目【歴史的分野】

書名 項目	中学歴史 日本と世界 改訂版	81 
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○テーマを設定して歴史的に深く掘り下げる「歴史へのアプローチ」などを踏まえ、幅広い知識を身につけることができる工夫が見られる。 ○「人物コラム」から、歴史上の人物の生涯や考え方を知り、社会を動かした個人の働きを習得できるような工夫が見られる。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○教科書の学習課題では、社会的事象の見方・考え方を身につけることができるように「なぜ」「いつ」「どのように」などの問いになっている。 ○教科書右下部にある「ステップアップ」では、生徒の深い学びが実現できるような工夫が見られる。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各章の始めには、日本と世界の歴史を比較しながら、視覚的に流れをつかむことができ、学習の見通しをもった活動ができるような工夫が見られる。 </p> <p> <課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○まとめの活動では、教科書の章末のページの各問いを考えながらまとめることができる工夫が見られる。 </p>	
資 料	<p> ○学習課題に迫るために精選された資料があり、カラーユニバーサルデザインを取り入れた工夫が見られる。 ○QRコードを活用し、資料や動画から情報を読み取るなど多様な学びができるような工夫が見られる。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○文字が小さく、本文の文字量が多く、情報量が豊富にある。 ○第1章「歴史との対話」では、イラストを多用し、生徒の関心を引き付け、年代の表し方や時代区分の表し方などを理解しやすいように工夫が見られる。 ○教科書左右部の側注欄に用語解説を設け、分かりにくい用語について丁寧に説明し、学習内容の理解を深めることができるような工夫が見られる。 </p>	
総 括	<p> ○世界の歴史も含めた歴史全体の流れをつかむことができる教科書の構成になっている。各世紀の世界の状況を通観して、視覚的に理解ができるような工夫が見られる。 ○「地域からのアプローチ」では、各地域の歴史や伝統文化などについて学ぶ内容であり、地理分野との接続・連携が取れる工夫が見られる。 ○小中高の学習（高校地理歴史科）との円滑な接続ができる内容で、世界の歴史を多面的・多角的に考察することの基礎を身につけることができるような工夫が見られる。 </p>	

教科【社会】種目【歴史的分野】

書名 項目	中学社会 歴史的分野	116 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 日 文 </div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○教科書左上部に導入資料だけでなく、QRコードから読み取った資料(写真や動画)を活用しながら、その時代の様子を理解し、知識を深めることができる工夫が見られる。 ○「チャレンジ歴史」では、資料を基に歴史について考えたり、自分と対話したりして歴史を学ぶ面白さを体験し、知識を深めることができる工夫が見られる。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○生徒が問いを立て学習の見通しと振り返りができる単元構成になっており、歴史的な見方・考え方を働かせながら考えることができる工夫が見られる。 ○まとめと振り返りでは、年表を基に単元を貫く問いを考えられるようなページ構成になっている。生徒の考えを記入する欄は、文字のフォントを変えている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○ICT機器を活用して、QRコードを読み込むことで、イントロダクションムービーの視聴や確認小テストができ、学習意欲をかき立てたり、知識の定着につながったりする学習ができる工夫が見られる。 </p> <p> <課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○「先人に学ぶ」「地域に学ぶ」などのコラムのほか、「チャレンジ歴史」、「歴史を掘り下げる」などの特集から、他教科、他分野との連携・接続につなげることができる工夫が見られる。 </p>	
資 料	<p> ○教科書左上部に導入資料を提示し、学習課題に迫ることができる。 ○各ページに小年表を提示し、学習する歴史的な事象が、いつ、どのような順番でおこったのかを確認することができるように工夫が見られる。 ○カラーユニバーサルデザインを取り入れた工夫が見られる。 ○実物大の大きさの資料を提示し、実際の大きさを理解することができるようになっている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○教科書の見開きページで何を学ぶのかが分かりやすく、教科書下部の小学校での既習事項の歴史上の人物を踏まえ、課題解決学習に取り組むことができるようになっている。 ○年表が教科書の各ページの右部にインデックスであり、その時間の学習内容がどの時代を示すのかが明確に分かるような工夫が見られる。右部のインデックスで分かるようになったことで、他のページの学習内容と比べやすい。 </p>	
総 括	<p> ○まとめと振り返りでは、積極的に思考ツールを活用してまとめることができる工夫が見られる。(Xチャート、ダイヤモンドランキング、ピラミッドチャート、ツールミンモデル) ○まとめる技能を育成するために、情報を収集し、読み取り、まとめる際に必要となるスキUPコーナーを設け、年表や歴史地図、系図、絵巻物を読み取る技能の解説動画を視聴できる。 </p>	

教科【社会】種目【歴史的分野】

書名 項目	<h1 style="text-align: center;">新しい歴史教科書</h1>	<div style="text-align: center;">225 自由社</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章末には、調べ学習、復習問題、時代の特徴を考えるページがあり、単元を振り返りながら、基礎・基本的な知識の定着を図ることができる工夫が見られる。 ○単元の末尾には、「チャレンジ」という記事を置き、単元ごとに学習した知識の整理を行うことができるような工夫が見られる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書の左上部には、1時間の学習課題があり、そこから何を学ぶのかが分かるような教科書構成になっている。 ○教科書下部にある「チャレンジ」から、1時間の学びをもとに自分の考えをまとめることができる工夫が見られる。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各章の始めのページでは、小学校での既習事項である歴史上の人物が登場し、小学校の学習を振り返りながら、学習の見通しをもつことができるような工夫が見られる。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○章末の「ひとこと作文」では、時代ごとの特徴をつかむことで、課題の追究ができるように工夫が見られる。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書上部には導入資料、左右部には人物や条文等を提示し、学習課題に迫るための資料が豊富にある。 ○本文に記載している内容を、具体的に説明した資料が教科書の上部に載っており、知識を深めることができるようになっている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○文字が小さく、本文の文字量が多く、情報量が豊富にある。 ○文字は、カラーユニバーサルデザインフォントを使用し、ふりがなには読み取りやすいゴシック体を用い、文字の視認性を高くしている。 ○教科書各ページのタイトル番号が章や節で分けることなく、通し番号で成り立っている。 ○キャラクターのイラストの吹き出しを使い、学習のポイントの補足をしている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史の年表が、教科書下部にあることで、毎時間の学習内容が、どの時代を示すものなのかをすぐに確認ができるように工夫が見られる。 ○コラム「外の目から見た日本」を各時代に配置し、これらから、それぞれの時期に日本人を観察する機会があった外国人が日本人の高い道徳性を公正に評価していることに気づき、愛国心を育むことができるような工夫が見られる。 ○人物クローズアップのコラムにより、歴史的事象の視点だけでなく、あらゆる見方・考え方をもって考えることができるような工夫が見られる。 	

教科【社会】種目【歴史的分野】

書名 項目	<h2>新しい日本の歴史</h2>	227 育鵬社
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各章の始めに、その章で学習する時代の人々の生活を描いた絵画や写真を細かく見る「虫の目で見る歴史」コーナーを設置し、生徒に身近な生活や文化の目線で歴史を捉えることができるように、大きく資料を提示して読み取ることができる工夫が見られる。 ○学習のまとめでは、年表で歴史的事象を確認しながら、単元を貫く課題の達成につなげることができる工夫が見られる。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○教科書の始めのページに、歴史的な見方・考え方を働かせるために、「時期や年代」、「推移」、「比較」、「相互の関連」、「現在とのつながり」について具体例を挙げて説明している。 ○「歴史ズームイン」では、歴史的な見方・考え方から資料や学習内容について多面的・多角的な考察を深められるような工夫が見られる。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○章の始めに、「歴史絵巻」があり、小学校で学習した内容を振り返りながら、時代の流れを俯瞰し、生徒の関心を高めて主体的な学習を進めることができる工夫が見られる。 </p> <p> <課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○主体的・対話的で深い学びを実現するために、単元を貫く課題、節の課題、学習課題を設定し、学習の見通しをもって学習に取り組めるような工夫が見られる。 </p>	
資 料	<p> ○時代の発展に寄与した先人の事例やコラムが提示してあり、現代社会の課題を追究・解決するための糸口になるものがある。 ○各章の導入に二次元コードがあるので、学習内容に関連する動画を視聴したり、情報を収集したりして、主体的な学びにつなげられる工夫が見られる。 ○豊かな日本の伝統と文化を数多く資料として提示してあり、情報が豊富にある。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○ユニバーサルデザインフォントを使用し、ふりがなには読み取りやすいゴシック体を用い、文字の視認性を高めている。 ○文字が多く、見開き（左右）のページに情報が多い。 ○キャラクターの吹き出しの内容が、学習のポイントを補足している。 </p>	
総 括	<p> ○歴史の年表が、教科書下部にあることで、毎時間の学習内容が、どの時代を示すものなのかをすぐに確認ができるような工夫が見られる。 ○二次元コードを使って、資料や動画を視聴し、主体的な学びを実現する工夫が見られる。 ○豊富な資料を活用できるとともに、道徳教育に関する内容の資料やコラムも掲載してある。他教科との横断的な学習につなげることができるようになっている。 </p>	

教科【社会】種目【歴史的分野】

書名 項目	とともに学ぶ人間の歴史	229 $\frac{229}{\text{学び舎}}$
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○学習内容の構造化と焦点化を特に重視して設定し、歴史の具体的な場面や時代を生きる人々の姿を通して、各時代の特色を理解し、知識を深めることができる工夫が見られる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○多面的・多角的に考察ができるように、教科書の左右部には側注欄やグラフ、資料があり、歴史的な見方・考え方を働きかけることができる工夫が見られる。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○生徒の関心を掻き立てるタイトルと「なぜ」、「どのような」といった学習課題の提示があり、主体的な学びにつなげることができる工夫が見られる。 ○多様な視点で学習課題を達成できるように、歴史上の人物だけでなく、その時代の子どもや若者の生き方、労働・学習について取り上げる工夫が見られる。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○章のまとめでは、教科書に提示してある地図や年表などを活用して、基本的な知識の定着を図るとともに、歴史的事象をさまざまに関連付けたり、あらゆる意見を交えたりして、単元の学習課題を達成できるような工夫が見られる。</p>	
資 料	<p>○絵画資料、写真、文書、新聞、統計資料など多様な資料を大きく鮮明な画像で掲載し、読み取って活用ができる工夫が見られる。 ○教科書上部には、導入資料が提示してある。 ○年表には、各地域のできごとを具体的に捉えられるような工夫が見られる。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○歴史地図やグラフなどは、カラーユニバーサルデザインにしてある。 ○裏見返しの「歴史地図（日本）」では、千島列島から南西諸島に至る全域を1枚に収めて、日本全体を捉えられるような工夫が見られる。</p>	
総 括	<p>○章の冒頭にある「章の扉」には、北極を中心とした世界地図を描き、章のテーマに基づいたその時代の各地の様子を表す写真や絵を配置して、生徒の関心を引き出す工夫が見られる。 ○学習の見通しができるように、大きな時代を見渡した学習課題を置き、課題意識の育成を図ることができるようになっている。</p>	

教科【社会】種目【歴史的分野】

書名 項目	国史教科書 第7版	236 
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の歴史を、伝統や文化の特色を広い視野でとらえ、偏った内容だけでなく、幅広い知識を習得することができる工夫が見られる。 ○章末の確認コーナーでは、箇条書きで学んだことを振り返らせ、基礎基本の知識技能を身に付けられるようにしている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書には、「考えよう」のアイコンがあり、そこで習得した知識を基に、問いに対して自分の考えを見出そうとする場面が設定してある。 ○政治・外交・文化・産業の観点から問いが設定され、多面的・多角的な思考を促している <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○章の導入では、生徒が親しみやすいイラストを大きく示している。 ○生徒が伝統文化に興味が高まるよう特産品の紹介や参考文献を掲載する等の工夫が見られる。 <p>＜課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○時代区分ごとに、まとめの活動があり、レポートや新聞にまとめる例を見本にしなが、学習したことを整理してまとめることができる工夫が見られる。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の後ろのページに時代ごとにまとめた資料が大きく提示してある。美術図鑑とあり、美術科との連携がとれる工夫がある。 	
表 記 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や条文などは少ないが、イラストがあり生徒の関心はもたせる工夫が見られる。 ○ほとんど縦書きの表記であるが、一部横書きもあり、縦書きと横書きを使い分けている。 ○教科書上部に、脚注欄があり、用語の解説をしている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○縦書きの表記であり、文字が小さく情報量が豊富である。 ○情報量が豊富である分、教科書のページ数も非常に多い。 ○写真や条文が少ないだけに、情報を知るための内容になっている。 	

教科【社会】種目【公民的分野】

書名 項目	新編 新しい社会 公民	2 東書
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○QR コンテンツを視聴することで、教科書の内容が深められる工夫をしている。 ○単元の到達目標を示し、学習に見通しをもたせる工夫をしている。 ○本時の内容の上に「サブタイトル」が書かれており、内容を理解しやすい。 ○1時間ごとに設定された「学習課題」に対する答えを導くための「チェック」「トライ」が明記しており、学習を振り返り、知識の習得や理解の深度を確認できるよう工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各単元の最後に思考ツールが提示されており、思考を整理できる工夫をしている。 ○社会科の見方・考え方を働かせる活動ができるよう「見方・考え方マーク」が設けられ、学習内容の理解を深めることができるよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元の導入で、単元を貫く課題を示し、見通しを立てて進められるようにしており、まとめのページでは段階を踏んで学習の振り返りができるよう工夫している。 ○「18歳へのステップ」を設け、主権者意識を高める工夫がされている。 </p> <p> <課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各章の学習のまとめにおいて、「確かめよう」「ふり返ろう」「深めよう」「探究課題を解決しよう」と課題解決が段階的に取り組めるように工夫している。 </p>	
資 料	<p> ○導入・展開・まとめの各段階に応じたQRコンテンツが用意されている。 ○難しい用語については「もっと解説」でわかりやすく説明している。 ○資料番号を本文にも付けることで、本文と資料を結び付けて学習できるようにしている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○紙面や図版について、色覚特性のある生徒に配慮したものにしたり、文字をユニバーサルデザインフォントにした文字にしたりするなど多様性に配慮している。 ○本文、資料、インデックス、QRコード等を紙面の定位置に配置している。 ○インデックスが記載され、学習単元がわかるように工夫されている。 </p>	
総 括	<p> ○各章の学習を「興味・関心をもたせ、探究課題を立てる導入」、「1時間ごとの学習課題を解決しながら進める展開」、「探究課題を解決するまとめ」のように問いを中心に課題解決学習を勧められるように構成されている。 ○紙面とデジタルを併用することで個に応じた学びをすることができる。 ○巻末に高等学校の「公共」について紹介するページを設け、高等学校での接続に配慮している。 </p>	

教科【社会】種目【公民的分野】

書名 項目	中学社会 公民 ともに生きる	17 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 教出 </div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○1時間で見開き2ページで、写真や地図による導入、学習課題、本文、確認と表現で構成され、流れがわかり、理解しやすくなる工夫をしている。 ○紙面に印刷された二次元コードから「学びリンク」にアクセスでき、ICT機器を利用して多くの問題を繰り返し説けるよう工夫している。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○本文の流れに即し、資料をもとに考察する「THINK」や追及の視点を示す「LOOK」が設けられている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○導入に「学習のはじめに」で章の学習を見通し、単元を貫く課題を明確にし、章末に学習をふり返る「学習のまとめと表現」で振り返りと次章への準備が図れるように工夫している。 ○歴史や地理の学習をふり返りながら、「地域のルールをつくるには」や「なぜルールをつくる必要があるのだろう」のように身近な課題の解決方法を考える活動を通じ、関心を高め、自ら行動していこうとする態度を養う工夫をしている。 </p> <p> <課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○単元を貫く課題を示し、1時間ごとの学習では見通しを示す「学習課題」で何を追究していくかを明確にしている。 ○「特設ページ」を設け、視点を変えて学習内容を捉え直す工夫をしている。 </p>	
資 料	<p> ○本文と資料の関係を番号で示し、本文を読みながら資料を結び付けることができる。 ○写真とグラフが多く、知識を補う適切な資料提示がされている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○ユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントを使用している。 ○本文がわかりやすい文章で書かれている。 ○インデックスが設けられ、どの部分を学習しているのかがわかるようにしている。 ○各小単元の右ページ下に学習内容と関連するSDGsの表示をしている。 </p>	
総 括	<p> ○各章毎に、特設ページ「持続可能な社会に向けて」を設け、社会への関心を高め、自身も社会を形成する一員として行動しようとする態度を育む工夫をしている。 ○冒頭に「公民で学ぶ主な内容と学習の見通し」、「公民で意識したい具体的な『学び方』」、「学びの記録としての『公民のノート作り』」を掲載し、公民の学習をイメージしやすくしている。 </p>	

教科【社会】種目【公民的分野】

書名 項目	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	46 
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各章が「導入→本時→振り返り」のサイクルで構成され、見通しを持って学習できるだけでなく、知識を確認することができるようになっている。 ○見開き1時間で紙面が構成され、「導入・課題・本文・確認しよう」の順で構造化されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○小単元の終わりに「説明しよう」があり、学習内容を活用して、思考・判断・表現ができるよう工夫している。 ○思考ツール、各章末に「学習をふり返ろう」が設定され、その過程で思考ツールを用いて自分の考えを整理できるよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○立憲主義の考え方や働くことの意義など社会参画の意識を育むことができる記述がみられる。 </p> <p> <課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各章末の「学習をふり返ろう」では、章の問いに対し「社会的な見方・考え方」に基づいて考えられるようステップ1・2のように段階を踏んで課題解決的な学習ができるような工夫をしている。 ○各章の「学習をふり返ろう」の最後に5部「探究学習への準備」が設けられ、中学校社会科の総まとめにつながるよう工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○本文の記述を補足する写真や図表等が多く掲載されている。写真は大きく見やすいように工夫されている。 ○資料読み取りのポイントを「資料活用」として示している。 </p>	
表 記 表 現	<p> ○ユニバーサルデザインに配慮し、色づかい、グラフの明確化、UDフォントの使用などインクルーシブ教育に対応している。 ○見開きページのレイアウトが統一され、学習しやすく工夫されている。 ○インデックスが記載され、学習単元がわかるように工夫されている。 </p>	
総 括	<p> ○冒頭に「教科書を活用した学び方」が設けられ、学習の方法が理解できるように工夫している。 ○学習内容が、社会の中でどのように関わっているかやどのような意義をもっているかが本文に記述され、社会参画への意識付けができるようにしている。 </p>	

教科【社会】種目【公民的分野】

書名 項目	中学社会 公民的分野	116 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 日 文 </div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○1時間を見開き2ページとし、学習課題で課題を明確にし、確認・表現のコーナーで知識・技能が定着できるように工夫している。 ○連携コーナーで地理・歴史分野とのつながりが示され、知識を関連付けられるように工夫している。 ○QRコードで確認小テストができるようになっている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「アクティビティ」、「チャレンジ公民」を設け、習得した知識を用いて考え、説明できるような工夫をしている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元を貫く問いを設定し、見通しをもったり、学習をふり返ったりすることができるよう工夫している。 ○教科書QRコンテンツに「ポートフォリオ」を設け、ふり返りに活用できるようにしている。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入ページでは、漫画を用いて身近なところから関心をもたせ、章の課題を立て、答えを予想し、見通しをもてるようにしている。 ○まとめでは、知識を確認し、現実の課題に生かしたり、思考ツールを活用したりするなど多様な学習活動ができるよう工夫している。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○「まちのバリアフリーを探そう」では、資料に実際に点字が打たれており、興味・関心が高められるようにしている。 ○イラストを用いて、抽象的な事柄をイメージしやすくしている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインへの対応がされている。 ○重要語句が太字にされ、すべてにふりがなが振ってある。 ○インデックスを設け、学習単元を確認できるようにしている。 ○類似用語集が巻末に掲載してある。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○ポートフォリオ、イントロダクションムービー、確認小テスト、スライドショー、関連資料など教科書QRコンテンツが用意されている。 ○SDGsについて、巻頭ページをはじめ、「明日に向かって」や「アクティビティ」、「公民+α」などで関連する内容を取り入れ、教科書全体を通して考えられるようにしている。 	

教科【社会】種目【公民的分野】

書名 項目	新しい公民教科書	225 自由社
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○1 授業時間で見開き2ページで学習できるようになっており、冒頭に本時の学習課題が示されている。また、「ここがポイント」を設け、本時で身につける内容が整理できるように工夫されている。 ○「もっと知りたい」では、学習内容について更に深く学べるように工夫している。 ○歴史的背景から概念や制度に関わる説明がなされており、既習事項と関連させやすい。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「やってみよう」では、学習内容に即した課題を提示し、学習内容を深めて考察できるように工夫している。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各章の始めに簡潔に何を学ぶのかがわかるようにしている。 ○各章末に「学習のまとめと発展」を設け、学習したことをふり返り、まとめ、発展させて考えられるよう工夫している。 </p> <p> <課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○各節に「アクティブに深めよう」を設け、既習の知識を用いて、見方・考え方を生かして考えられるようにしている。 </p>	
資 料	<p> ○ページ上部の資料が大きく掲載されている。 ○グラフや図が大きく示されている。 ○1時間の授業で扱う資料を厳選して掲載している。 ○写真やデータが厳選されている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○本文の欄外に難しい用語の解説や本文の補足が掲載されている。</p>	
総 括	<p> ○本文の文章量、情報量が多く、本文を読んで理解する構成となっている。 ○歴史上の人物や現代で活躍する人物を多く掲載している。 </p>	

教科【社会】種目【公民的分野】

書名 項目	新しいみんなの公民	227 育鵬社
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「つかむ、調べる、まとめる、表現する」のように1時間の流れを構成することで、学習の確実な定着ができるよう工夫している。 ○各章の最後の学習のまとめでは、重要用語を確認できるようにしている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「スキルアップ」を設置し、発表や議論の仕方、ロールプレイングなどの表現力をつけられるよう工夫している。 ○「見方・考え方」を設け、身近なできごとや自分の生活に関連することを取り上げ、思考力、判断力を育む工夫がされている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○冒頭「入り口」の見開きで、どうして学ぶのか、どのように学ぶのかが示され、学習内容への興味や関心を高める工夫がされている。 ○「課題をつかむ→調べる→まとめる・表現する」という問題解決型の学習を進められるように学習内容を編成している。 <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○章末にその章で学習した内容を踏まえ、「これから」で学びに向かう力や人間性を養えるよう工夫している。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○本文と関連付けて資料が提示されている。 ○資料が大きく掲載されている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインフォントや色覚特性に配慮してカラーユニバーサルデザインを使用している。 ○難解な法律用語には補足をつけている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○公民と歴史の連動が意識され、現代社会の課題について歴史的経緯を踏まえて考察できるようにしている。 ○冒頭に「なぜ公民を学ぶのか」を設け、公民学習への意欲を高める工夫がされている。 	

教科【社会】種目【地図】

<div style="text-align: right;">書名</div> <div style="text-align: left;">項目</div>	<p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">新編 新しい社会 地図</p>	<p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">2 東書</p>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○各教科書との連携が図られている。教科書に掲載されている資料を、地図帳でさらに詳しく見ることができる。教科書にある同じ事象でも地図帳では別の角度からの視点で資料が掲載されている。こうした補助的な教材が豊富で、生徒の知識や技能を補完することができるようになっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「地図帳活用コーナーBee's eye」では2枚以上の図を比較して、過去と現在の変容を読み取り、現代で起きている社会的事象について考える発問が多数用意されており、思考力を高めるために効果的な工夫が見られる。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○オンラインリソースが非常に豊富である。デジタル地球儀の「My Globe」やデジタルマップ、世界に気候景観などは、生徒の知的好奇心を喚起する教材として配慮されており、向学心を高める工夫が見られる。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○全体的に日本国内の地理的情報に偏ることなく、よいグローバルな視点で世界各国の情報が掲載されているため、地球的課題に対する課題解決学習で十分に活用できるような工夫が見られる。</p>	
資 料	<p>○「ミツバチーズ」などユーザーフレンドリーなデザインが多く採用されている点に工夫が見られる。</p> <p>○「ミツバチーズ」からのナビゲーションが、地図帳の各資料を使用する際の効果的な補助になっている。</p> <p>○A4版に拡大されている。</p>	
表 記 ・ 表 現	<p>○資料はカラーユニバーサルデザインに全対応、すべての文字が読み間違いにくいユニバーサルデザインフォント、全体的に不要な陰影などが無いシンプルな表現になっている。</p>	
総 括	<p>○デジタルとの連携が図られており、様々なコンテンツを使いこなすことができれば、視覚や聴覚を使った多感覚的な学習の実現が可能である。さらに、生徒の学習手段も増えるため、より個別最適化が図れるような工夫が見られる。</p>	

教科【社会】種目【地図】

<p>書名 項目</p>	<p>中学校社会科地図</p>	<p>46 帝国</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各地図のイラストは見やすく、わかりやすく配置されており、地形だけでなく自然環境や文化、産業が視覚的に読み取れるため、教科書だけでは扱いきれない知識の補完にくふうが見られる。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○イラストで描かれた歴史的事象が地図に掲載されているため、歴史的事象について考察する際に地理的な視点が自然と加わり、思考力・判断力の育成につながるよう配慮が見られる。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「地図で発見！」コーナーで社会的事象の謎や疑問を生徒に投げかける工夫が随所にみられる。生徒は知的好奇心の高い内容であれば主体的に学びに向かっていくと考えられる。</p> <p><課題を追求・解決する活動の充実を図るための工夫> ○SDGsと防災の視点を中心に持続可能な社会の実現を考察する資料が、地図帳全体を通して掲載されている。そのため、課題解決型の学習に取り組むときに大きな効果を発揮できるような工夫が見られる。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○細部まで細かく描かれた地図が掲載されており、地形や都市の位置などに配慮が見られる。</p> <p>○地理的情報を豊富に取り入れた多様な地図が掲載されており、幅広い学習ニーズに対応できるよう工夫されている。</p>	
<p>表 記 表 現</p>	<p>○資料はカラーユニバーサルデザイン、文字はユニバーサルデザインフォントが採用されている。レイアウトも統一されている。</p> <p>○地名を手話で表すコーナーが新設され、インクルーシブ教育への配慮がある。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○掲載されている地図のクオリティが高く、地図の種類も豊富であるため、多様な学習ニーズに対応できることが大きな特徴である。</p>	

教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～	2 東書
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○例題に対する問の問題が充実している。途中に「クイックチェック」があり、問題量が多い。また、節によっては基本の問題が設定されていて、基礎基本の定着を図っている。 ○「ちょっと確認」では、つまずきの多い内容を同じページですぐに確認できるようになっている。 ○補充の問題では、しっかりと問題数が確保され、1年間のまとめに取り組むことができる。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○課題の設定の場面で「Q 考えてみよう」の項目が設けられており、知識や技能の単純な指導ではなく、生徒が考えることから始められるように工夫されている。 ○「大切にしたい見方・考え方」で、数学的な見方について例示され、問題解決の参考になる。 ○章のはじめの問題場面では、「ポップコーンを買って終わるまでにかかる待ち時間を予想してみよう。」と、生徒にとって関心をもって、日常生活に役立つ課題で構成されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○導入では、写真や絵が大きく提示され、興味・関心を高めている。また、各章のタイトルが単元名ではなく、活動を示す表現である。例えば「正負の数」ではなく、「数の世界をひろげよう」、「平面図形」ではなく、「平面図形の見方をひろげよう」であり、学びに向かう表現である。 ○「数学のまど」では、章に関連するトピック的な内容を取り上げ、発展的な内容や日常生活・社会生活との関わりを示しており、主体的に学習に取り組むことを促している。 ○導入部分で日常に即したものを多く使っている。特に、第1学年の空間図形の導入では、身の回りの立体を紹介している。QRコードを用いて、自分の地域に合わせて立体を変更できる。 </p> <p> <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○教科書の使い方について「この本の構成と使い方」のページを設けている。数学的活動を進めていく上での教科書の活用方法が示されており、生徒が取り組みやすいように記述している。 ○数学の読み物のページが充実している。生徒が自ら取り組んだりできる内容となっている。 ○付録として立体を組み立てることができたり、確率カードなど活動を通して考えることができたりするページが巻末にある。 </p>	
資 料	<p> ○教科横断的な見方・考え方をはたらかせる資料が充実しており、読み物として紹介しているところもあれば、実際に問題を解いて思考をはたらかせるところもある。 ○すべてのページにQRコードが記載されている。それを読み取るとそのページで学習している内容について解説しているものや、さらに学習内容を深めるものを確認することができる。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○「Q 考えてみよう」は、オレンジ色になっており、生徒にとって見やすい表記となっている。 ○右ページの外側に、章ごとに、黄色、ピンク色の交互でインデックスで各章が見やすく表記されている。 ○小さい文字には、ユニバーサルフォントが使用され、見やすく表記されている。 </p>	
総 括	<p> ○「つながる」をコンセプトとして、数学と身のまわり、数学と社会、算数と数学などを大切に構成されている。つながりを大切にすることで数学の有用性を感じられるつくりになっている。 ○導入では、章のとびらでこれから学習する数学についての問いかけがなされており、考えるきっかけや自ら学ぶ姿勢が育まれるように工夫されている。 ○基本の問題、章の問題ABと、上位層から下位層まで幅広く対応が可能な問題数である。生徒の実態に応じた問題選択が可能な構成となっている。学力差が大きい学級においては、一人一人の実態に応じて、個別最適な学習がしやすい教材となっている。 </p>	

教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	<h1>数学の世界</h1>	4 大日本
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○活動に対して「Q」の問題が用意されており、スモールステップで問題を解いていくことができる。また、「プラスワン」や「たしかめよう」の問題も用意されている。 ○章末には、「章をふり返ろう」や「力をのばそう」があり、難易度別に問題が設定されている。巻末には補充の問題と総合問題があり、段階的に振り返れるようになっている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○生徒のつぶやきを記載している場面が随所にあり、生徒の思考を促している。吹き出しの内容は数学的な考え方に関する内容が多くあり、問題解決のヒントになっていてわかりやすい。 ○「Q」の問題に「伝えよう」や「判断しよう」という問題が設定されており、言語活動を促す表現が見られる。また、誤答例が示され、そこから正しいものを考えさせる問題もある。 ○小単元では「考えよう」から始まり、疑問をもち学習がはじまるよう構成されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○導入の課題が学校生活や、自分の身の回りの生活に即したものが多い。また、導入で示された図や写真も生徒の興味関心をひくようなものになっている。 ○巻末の「MATHFUL」では、数学に関する身のまわりのことが記載されており、日常生活との関わりを学習することができる。発展的な題材や、読み物的な題材などがふんだんに盛り込まれており、生徒の意欲を高める内容となっている。 ○他教科との関連の明記があり、教科を横断した題材の工夫がある。 </p> <p> <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○巻頭に「数学の世界へようこそ」のページがあり、①問題を見いだそう、②解決のしかたを探ろう、③解決しよう、④深めよう、と問題発見、問題解決の流れが示されている。 ○レポートの書き方に関するページが分かりやすく記載されている。数学的活動を通して数学的に考えた内容を表現できるように工夫されている。 ○これまでに学んだことをもとにして考えたり、調べたりする場面では、複数の生徒の吹き出しで見通しをもたせ、自分以外の考えに触れながら、主体的に問題に取り組むことができる。 </p>	
資 料	<p> ○教科横断的な資料が充実している。「発見！仕事のなかの数学」のコーナーがあり、数学が社会にどう役立っているか記載されており、数学を学ぶ意義を強く感じることができる資料である。 ○教科書の目次の次のページにQRコードの資料があり、教科書のどのページでQRコードを使った問題があるか確認することができる。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○「めあて」がオレンジ色の枠で統一され、分かりやすく、表記されている。 ○「発見！仕事のなかの数学」は鮮やかな配色で作られており、生徒の目につく表現となっている。 ○新しい用語はゴシック太字で示され、ルビが振られている。 ○右ページの外側に、緑、青、ピンク色とインデックスで各章が見やすく表記されている。 </p>	
総 括	<p> ○「考える力を一層のばすこと」をコンセプトとして、多様な見方や考え方で考えることを大切に、構成されている。数学的活動を通して、課題解決が図れる力を育成するつくりになっている。 ○導入では、各単元の導入が興味深く、関心をひく鮮やかな写真や絵とともに、既習事項とのつながりが示されている。 ○他教科とのつながりや学びにプラスの項目があり、生活との関連が分かりやすく、教師側にとっても数学を学習する意義を生徒に伝えやすい教材である。教師にとっても教材研究の見方が広がる教材である。 </p>	

教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	<h2>中学校 数学</h2>	$\frac{1}{1}$ 学図
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○節末には「確かめよう」が記載されており、さらに「計算力を高めよう」というページもあり、基礎的基本的な学習内容の定着の徹底が図られている。 ○章末には、章のまとめの問題が基本、応用、活用の3種類に分類されていて、そこに加えて学習を深める内容もあり充実している。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○表現力を身に付ける課題では、「説明する力をつけよう」というページがある。そこには登場人物の会話も多く載っていて、言語活動を促す工夫がされている。 ○巻末に「見方・考え方をまとめよう」というページがあり、1年間を通して学習する際に行ってきた見方・考え方をふりかえることができる。 ○「Tea Break」では、計算や法則などが成り立つ意味について記載されている。 ○「深めよう」の項目では、思考を凝らしながら問題をさらに追究するための記載がある。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○導入の課題は自分の身の回りの生活に即したものが多い。また、掲載されている写真や図も生徒の興味関心をひくようなものになっている。 ○「数学へのいざない」、「さらなる数学へ」では、発展的な学習内容などにつながるトピック的な記載がされており、生徒にとって学びへの関心を高める内容が充実している。 ○各章末に、「できるようになったこと」、「さらに学んでみたいこと」があり、自己評価できる。何がわかったか、できるようになったか、どのように学んだかなどの視点で単元を振り返る。 </p> <p> <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○「Question」で問題提起を行い、その後、例題と問の問題が紹介されている。また、目標が明確に示され、何を学習するか明確であり、数学的な活動の充実が図られている。また、まとめでどんなことがわかったかが示されており、目標からの流れがわかりやすくなっている。 ○数学的活動の自分の考えを周りの人に説明する場面では、複数の生徒の吹き出しによる対話的な学びを提示し、数学的に考えることを通して学びの深まりを行うように構成されている。 </p>	
資 料	<p> ○教科横断的な内容が巻末に資料として紹介されている。特に、数学の歴史の話がどの学年の教科書にも掲載されており、歴史と数学の関りを学習することができる。 ○QRコードを使用するページには、その都度教科書に載っている。振り返りをするものなのか、解答が載っているものなのか、一目見てわかる資料になっている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○キャラクターの会話文が黄色の枠で囲まれていたり、重要なポイントには、統一して鍵マークが表記されていたり、見やすく表記されている。 ○「Question」や生徒の会話はゴシック体が使用され、見やすい表記になっている。 ○カラーバリエーションが豊富であり、全体的に落ち着いた色調になっている。 </p>	
総 括	<p> ○「子どもたちが数学を楽しみながら、その力を身につけること」を大切に、構成されている。課題解決の流れを中心に、数学的活動、協働的な学びを意識したつくりになっている。 ○「Tea Break」の項目で、高等学校への数学や、身の回りの数学を扱うページが多く、生徒自らが学びをさらに高めるための工夫がある。 ○全体的な色使いは、シンプルな印象である。 ○各章・単元ごとにQRコードを用いて、リンクイメージできるページが掲載されている。 ○レポートの書き方に関するページが分かりやすく記載されている。 </p>	

教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	<h2>中学数学</h2>	17 教出
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○単元のはじめに既習事項をふり返る問題があり、生徒が既習事項をふり返るとともに、教師が生徒のレディネスを把握しやすくなっている。 ○「たしかめ」も問題や「問」の問題で、スモールステップで問題演習ができる。また、「基本の問題」、「学習のまとめ」と「章の問題」、「力をのぼそう」があり定着を図ることができる。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「？」で学習に関わる疑問を示して、「！」で学習してわかったことを示している。また「!？」で新たな疑問へつながる内容を提示し、学びのサイクルを構成している。 ○巻頭に「大切にしたい見方・考え方」が示されていて、わかりやすく記載されている。 ○教科書の始めに、「大切にしたい数学的な見方・考え方」のページが掲載されていて、課題解決の際に活用できそうな数学的な考え方が網羅的に記載されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○章のとびらで示されている写真が鮮やかであり、生徒の興味をひくものになっている。また、「LINK!!」で章のとびらに関わる内容のコラムやキャリア教育へのつながりが示されている。 ○単元末にまとめの他に、単元をふり返り、学習感想をまとめるページがある。そこには、どのように身に付けたか等に関わる記載例が書かれており、学びに向かう力を充実させる工夫がある。 ○「数学の広場」では、日常生活とのつながりと関連付けた問題が掲載されている。また、他教科と結び付けた教科横断的な学習の視点で内容が掲載されている。 ○投影図の学習では、建物の設計図が示されており、日常生活との関連を図る内容となっている。 </p> <p> <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○「学びのプロセス」が①問題を見いだす、②問題をつかむ、③問題を解決する、④自分で考えてみよう、⑤友だちの考えを知ろう、⑥ふり返る等、数学的活動が自然に行える構成になっている。 ○単元の初めに疑問をもたせ、数学的活動の充実を図った後に、その疑問を解決する構成でとても工夫されている。 ○レポートの書き方に関するページとレポート書くための手順が分かりやすく記載されている。 </p>	
資 料	<p> ○「数学ライブラリー」、「数学の広場」では、日常生活と結び付けるための資料が掲載されている。 ○資料として「数学しごと人」というページが用意されている。そのため、学習した内容と関わる職業について学ぶことができ、数学を学ぶ大切さについて生徒が感じられる内容になっている。 ○「まなびリンク」というページがあり、QRコードの使い方が示されている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○生徒のつぶやきで数学的な考え方が示されている箇所や重要ポイントはオレンジの枠で囲まれており、生徒の目が行きやすいような色使いになっている。 ○カラーユニバーサルに配慮された表記になっている。また、全体的にフォントや表記に工夫が見られ、重要なポイントやまとめ、色使いのバランスなど見やすい構成になっている。 </p>	
総 括	<p> ○『「問い」をもって学び続ける子どもを育てる』をコンセプトとして、見方・考え方を働かせて学び合う、数学のよさを実感できるつくりになっている。 ○導入では、関心をひく資料があり、学習を進めた後に、写真の秘密がわかる構成になっている。 ○本文では、?→!→!という順番で疑問、解決、新たな疑問が示されていてわかりやすい。 ○数学で学んだことを活用するように記載されており、実社会との結びつきを重視した教材である。内容も子供たちの視点で扱われている項目が多く、生徒自身が社会へのつながりを感じるとともに数学を学ぶ意義を実感しやすい構成である。 </p>	

教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	未来へひろがる数学	61 啓林館
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○今まで学習した内容から考え方が広がる内容では、「ひろげよう」で新たな問いを見だし、それについて問の問題が用意されている。 ○単元ごとに、知識の定着を図る練習問題が多数用意されている。特に、章末問題では、4ページの構成で、多くの問題数が確保されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「説明しよう」や「話し合おう」と示されているページがあり、言語活動を促し、表現力を高める工夫がされている。 ○数学的な見方を「たいせつな考え方」として、「問題発見」、「問題解決」の場面に区分し示している。これらの数学的な見方の表示が随所に記載されており、思考力が高まるよう工夫している。 ○QRコードを活用し、図形を動かしたり、グラフを比べることができたりし、考えを深めることができる。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○日常生活場面に即した導入が多く、日常生活と数学とのつながりが実感しやすい内容である。 ○章ごとに「各章のあしあと」があり、わかったこと、できるようになったこと、さらに学んでみたいことをまとめる例の書き方が記載されている。 ○「数学ライブラリー」では、単元に即したトピック的な題材を紹介しており、生徒にとっては学ぶ楽しさを実感できる記述になっている。 ○巻末の補充問題では、入試問題チャレンジがあり、挑戦する気持ちを高める工夫が見られる。 </p> <p> <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○各章の利用の場面では、①「状況を整理し、問題を設定しよう」、②「解決の見通しを立てて、問題を解決しよう」、③「問題解決の過程をふり返って、気付いたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう」と課題解決のステップを踏んでおり、取り組みやすい構成になっている。 ○第2学年の第1章では「世界一周道路をつくろう」という課題を設定し、生徒の数学的活動を引き出す課題設定の工夫がある。 </p>	
資 料	<p> ○生徒の活動を表現する挿絵では、落ち着いたイラストを使用している。 ○数学ライブラリー等で、写真がふんだんに掲載されており、生徒の関心が高まる資料となっている。 ○QRコンテンツが多数、用意されている。自由に動かしたり、動画を見たりする資料の他、国立環境研究所や気象庁など参考になるWEBページにリンクされているものもある。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○本時の課題は黄色の四角で囲まれており、課題を明確に意識できる表記となっている。 ○一貫して落ち着いた色合いで構成されている。写真とイラストがバランスよく配置され、見やすい紙面になっている。 ○右ページの外側に、章ごとに、インデックスで各章が見やすく表記されている。 </p>	
総 括	<p> ○「生徒の知性を、数理的な面を通して開発すること」を大切に構成されている。数学を学ぶ楽しさや意義を実感できるとともに、資質・能力をバランスよく育むようなつくりになっている。 ○数学的な見方・考え方を身に付けられるよう、わかりやすく表現している。 ○導入では、主体的に学習に入ることができるよう、身の回りの問題を扱っている。言語活動を促す表記も充実しており、対話的を通じた課題解決を意識した構成になっている。 ○演習問題の題数が確保されており、全体的に基礎的な学習内容の定着を重視した、構成になっている。 </p>	

教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	これからの 数学	104 数研
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○節ごとに「確認問題」が用意されており、問題数も充実している。章末には「問題A」と「問題B」、「学んだことを活用しよう」があり、学習内容の定着・活用が図れるようになっている。 ○各章の始めに学習の前の「ふりかえり」のページや内容ごとに振り返りの項目があり、既習事項を確認してから学習に入れるように工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○課題設定の際に、生徒どうしや教師とのやりとりの場面があり、問題場面から課題設定が自然な流れで行えるように工夫されている。 ○多様な考え方や、誤答例を示したりすることで、数学的な考え方の育成が図られている。また、話し合いの場面を取り扱い、対話的な学びを促すことで、思考力、表現力の育成を工夫している。 ○第2学年の連立方程式の解き方の問題では、図的表現が工夫されており、課題解決の手助けをなっていると同時に、式表現の理解がしやすいように構成されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○教科書の初めに、「学習の進め方」のページがある。学習を取組むにあたっての授業の受け方・聞き方、話し合いの仕方について具体的な事項が分かりやすく明記されている。 ○導入が日常生活に関連づけた内容が多く、数学とのつながりを結び付きやすくし、工夫されている。また、巻末に数学旅行のページがあり、数学の楽しさを感じさせる工夫がされている。 ○日常に即した問題が多く、導入で使われている写真も生徒の興味関心をひくものが多い。再生速度と視聴時間の関係の課題もあり、現在の話題に合わせた問題設定となっている。 ○第1学年の作図の導入では、宝さがしというテーマで生徒の関心を引き出す課題となっている。 </p> <p> <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○数学的活動を通して学びを深める場面では、登場人物の会話が多く設定されていて、授業内での言語活動を促している。 ○章末に「学んだことを活用しよう」のページがあり、主体的に学びを進めるよう促している。 ○レポートの書き方に関するページが分かりやすく記載されている。 </p>	
資 料	<p> ○巻末の「数学旅行」には、数学の楽しさや奥深さを感じられる資料がふんだんに掲載されている。「リレーのバトンパス」、「LED電球はお得？」など身近で楽しめる資料となっている。 ○資料としてQRコードを使用するページには、教科書の下に細かく載っている。「補充」、「イメージ」、「資料」、「考察」、「探究」と目的別に掲載されている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○写真等は全体的に控えめであり、ポイントを押さえて掲載されている。 ○余白に余裕があり、色遣いが落ち着いており、生徒がじっくり思考できるような配色である。 ○吹き出しに緑の枠でふりかえりの項目があり、学習のつながりを意識した表記がある。 ○右ページの外側に、章ごとに青色のインデックスで各章が見やすく表記されている。 </p>	
総 括	<p> ○「個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実を目指した」つくりとなっている。前時とのつながりや振り返りを大切にし、新しい内容への抵抗を少なくするよう工夫しているとともに、生徒や教師の吹き出しが充実しており、対話的な学びを引き出す内容となっている。 ○ページごとに書かれている文字数や写真などの資料は他の教材と比べると控えめで、シンプルである。教科書の中での余白や行間も広く、問題数は抑えぎみな分、見やすいつくりとなっている。 ○導入では、日常に即した問題を示し、写真を活用して生徒の興味関心をひくものになっている。 ○発展課題が後半にまとまっており、学力差に応じた学びができるようになっている。 </p>	

教科【数学】・種目【数学】

書名 項目	中学数学	116 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 日 文 </div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○単元の冒頭に、「次の章を学ぶ前に」という既習事項をふり返る問題のページがある。生徒は既習事項をふり返るとともに、教師が生徒のレディネスを把握しやすい内容となっている。 ○節ごとに「基本の問題」があり、学習内容を細かく振り返ることができる。章末には、「章の問題」と「とりくんでみよう」がある。巻末にも補充の問題や活用の問題が用意されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○巻頭に「数学的な見方・考え方を身につけよう」のページがあり、課題解決の際の「大切な見方・考え方」についての説明が書かれている。 ○章末の問題に「説明できるかな?」という問題があり、表現させる問題の工夫がされている。 ○巻末に「ふり返りシート」や「対話シート」があり、学習の振り返りをワークシートを使ったり、言語活動をワークシートでできたりする。言語活動を促す工夫にもなっている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○教科書の始めに、「学びに向かう力を育てよう」のページがあり、学習に取り組む態度を身に付けるための具体的な例が記載されている。 ○日常に即した問題の他に、数学的な考え方を使ったパズルのような問題も多く載せられている。 ○「数学のたんけん」のページがあり、章ごとに数学の歴史との関連等を紹介している。生徒の興味を高める内容が多く記載されている。 ○巻末にある「数学を仕事に生かす」というページがある。実際の仕事とその仕事をしている人が紹介されている。また、どの数学の内容と関わっているかも確認することができる。 </p> <p> <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○巻末に「数学研究室」のページがあり、発展的に考える活動が示されている。 ○単元の初めには、数学的な問題場面の導入や、日常場面からの導入など、内容は豊富である。生徒の話し合いでは吹き出しが多くあり、課題設定がうまくできるように工夫されている。 ○数学的活動の場面では、自分で考える活動の後に、対話的な活動を設定し、協働的に学びの効果を高める工夫をしている。 </p>	
資 料	<p> ○巻末の「数学研究室」では、他教科や生活と関連付けた資料が掲載されている。 ○「ふり返りシート」、「対話シート」の資料があり、ノートに貼りやすい大きさに工夫されている。 ○QRコードを使用するページには、教科書の端に載っている。「見る」、「身につける」、「調べる」など、目的に応じた資料となっている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○「Q (問題)」は、黄色の四角で色付けされている。また、「めあて」が赤字で、重要事項は水色で統一され、分かりやすく、表記されている。 ○カラーバリエーションが豊かであり、文字も見やすい表記になっている。 ○大切な見方・考え方の表記がページごとに表記されている。 </p>	
総 括	<p> ○数学的な見方・考え方を働かせた「わかる・できる・活かす・楽しむ」数学的活動の充実を大切にした構成になっている。生徒の吹き出しが多く、数学的な思考を促している。また、学びに向かう力を意識した項目が多く、生徒が主体的に学ぶことにつながると考えられる。 ○教科横断的な視点の記述が多く、数学パズルや日常生活を数学化する導入が工夫されている。 ○導入の前に既習事項の確認があったり、小学校での学びをふり返る場面があったりなど、小学校算数を復習できる内容の構成になっている。 ○巻末には章の問題と、とりくんでみようがあり、問題の振り返りや発展的な学習につなげている。 </p>	

教科【理科】・種目【理科】

書名 項目	新編 新しい科学	2 東書
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <p>○単元扉に既習事項が細かく明記されており、基礎操作ではQRコンテンツで動画等を見ることができる。系統が理解しやすく、思考の流れもスムーズであり必然性をもって新しい学習内容に入ることができる。また、確かめ問題、活用問題が充実しており、端末でもスモールステップで反復練習ができる。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○具体的な対話例を示すことで、自然に対話が始まるように工夫されている。また、「学びをいかして考えよう」により思考力や表現力の育成や深い学びにつなげている。また、観察・実験の分析解釈のページにおいて、見方や考え方のヒントが多く含まれており、思考・判断の助けとなっている。さらに「活用」により学習内容を活かして考えることができるため、さらに思考力を養うことができる。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○単元や章の導入に日常生活の現象を用いており、生徒の興味関心を高めやすくなっている。また、「レッツスタート」の項目が新設されており、生徒の主体性を高める問いかけから授業を展開できる構成になっている。さらに「導入」や「振り返り」にマンガを取り入れることにより、興味関心を高めやすくなっている。</p> <p>＜科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫＞</p> <p>○課題発見から振り返りまでの構成が自然で、探究の流れを習得しやすい。また、見開きごとに探究活動のステップが左下にフローチャートで示され、今何を学んでいるのかがわかりやすくなっている。実験結果を分析していく場面では、細かな考察のステップで探究の段階を踏んでいくことができるようになっている。</p> <p>＜日常生活や他教科との関連を図るための工夫＞</p> <p>○「まちなか科学」で、学習した科学的な事象・現象がどのように生活と関わっているのかを詳しく知ることができ、知識の定着を図る工夫がなされている。また、生徒の興味を引き出すコラムが充実しており、「社会につながる科学」、「学びを生活や社会に広げよう」など様々な角度からのアプローチが設定されている。</p>	
資 料	<p>○QRコードを多数配置するなどデジタルコンテンツが充実しており、生徒用端末を用いることで効果的に個別最適な学びが実現できるように企画されている。</p> <p>○一冊の資料集のように、本文に対してすべてカラーの写真や挿絵を入れており、学習内容の振り返りや定着がしやすくなっている。</p>	
表記・表現	<p>○新出用語や単位は太字のゴシック体で表し、実験の注意事項は赤字で目立つようになっているなど、UDの観点から配色及びデザインが工夫されている。</p> <p>○難易度が高いものに対しては、キャラクターが身近な現象に例えて解説するなど生徒がイメージしやすくなるように工夫されている。</p>	
総 括	<p>○導入や発問が工夫され、生徒の思考の流れに沿った構成となっており、興味関心を高めた上で観察・実験の必然性がスムーズに理解できるようになっている。</p> <p>○生徒がつまずきやすい内容を的確に分析しており、つまずき解消のための丁寧な説明や効果的なデジタルコンテンツを多く配置している。</p> <p>○全体的に写真やデジタルコンテンツ、練習問題などの資料の量が多く、丁寧な説明がされており、授業や家庭学習に活用しやすいものとなっている。</p> <p>○AB判を採用したことにより以前より全体的に大きくなり、視線の移動が少なく、流れがわかりやすいレイアウトになっている。また、約6%の軽量化を行った。</p>	

教科【理科】・種目【理科】

書名 項目	理科の世界	4 大日本
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各単元の導入前に既習事項について具体的に記載されている。また、観察・実験の「結果の例」や「結果からわかること」をノートに記録したような文章で表現し、理解が深まるように工夫されている。単元末の学習の整理や復習問題が充実している。 ○基本操作について細かく丁寧に解説し、デジタルコンテンツも掲載しているため、観察・実験を安全に行うための技能が身に付くようになっている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○観察・実験ごとに必ず「目的」と「着目点」が示されており、何のために観察・実験を行うのか理解しやすくなるよう工夫されている。また、探究の進め方では話し合いや発表の仕方を掲載し、思考力・判断力・表現力を育成できる構成になっている。単元末の「読解力問題」は学習内容を活用して考え、表現する問題であり、思考力、判断力、表現力を高め、定着できるよう配慮されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元の導入写真にインパクトがあり、知的好奇心を高めることができる。また、単元の始めに「これまでに学習したこと」、「これから学習すること」が見開き2ページを割いて紹介されており、既習事項を想起しやすいよう工夫されている。単元末の「探究活動」で関連するテーマを紹介し、自ら進んで探究を進められるようしている。 </p> <p> <科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫> ○観察・実験の前の「課題を見つけよう」、「計画を立てよう」の部分を充実させており、見通しをもたせて科学的に探究する学習活動を充実させるための工夫が見られる。また、「探究の進め方」で課題解決学習の流れとともに、科学的な見方・考え方の具体例を示し、学習を通して自然に身につけることができるように工夫されている。 </p> <p> <日常生活や他教科との関連を図るための工夫> ○「くらしのなかの理科」や「Professional」により、日常生活との関連が紹介され、理解が深まるとともに、理科に関連する職業や仕事などの資料を掲載し理科の有用性についても理解させることができるように工夫されている。また、様々なマークにより他の教科や領域との関連にも気づきやすいように企図されている。 </p>	
資 料	<p> ○多くの情報がコンパクトにまとめられている。ウェブコンテンツでは動画やワークシートなどが充実しており、集計作業も一連の流れで進めることができる。データの軽量化などクラス全体が同時に使用する環境での通信環境の配慮もされている。 </p> <p> ○挿絵、写真、図表などと本文との割合がおおよそ2：1となっており、関連付けしやすいように工夫されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○新出用語や単位は太字で表し、単元末に改めてまとめて解説している。また、実験の注意事項は黄色で囲まれており、目立つようになっている。 </p> <p> ○学年によって文章量や文字の大きさを変え、UDフォントの使用により、読みやすくなっている。また、カラーユニバーサルデザインも取り入れている。 </p>	
総 括	<p> ○学びがつながる・広がることを大事にしており、教科横断的な内容や日常生活、将来とのつながりについて詳しく紹介している。 </p> <p> ○多くの情報をコンパクトにまとめるために構成を工夫している。その分全体的に文字や挿絵、写真、図表が小さいが、デジタルコンテンツの充実により補っている。 </p> <p> ○タブレットを用いた授業を想定したデジタルコンテンツが充実しており、デジタル教科書と併用した場合のオリジナルコンテンツも充実している。 </p>	

教科【理科】・種目【理科】

書名 項目	中学校 科学	11 学図
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <p>○学習の区切りごとに「課題」、「まとめ」、区切りごとの「見方・考え方」が示されている。また、配信型授業支援サービスにより授業に役立つ最新素材を活用できる。授業内容にリンクさせた最新の科学ニュースをその都度更新しており、追加資料として閲覧することができる。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○観察・実験では、「探究の手法」を段階的に例示しており、考える・身につく理科を実現するために必要な内容を端的に学習する構成になっている。また、随所にある「理路整然一智に働けば役に立つ」を活用することにより、科学的に探究する力が育成されるように工夫されている。さらに、過去の学習状況調査や入試問題からピックアップされた問題で思考力を高めることができる。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○単元の始めに「学びのあしあと」、「ふり返ろう・つなげよう」等が1ページでまとめられ、既習事項を想起しやすいようになっている。すべてのページにQRコードがあり、デジタル教科書として活用できる。また、教科書アドバイザー「理科マス！」とチャット交信ができ、いつでも質問に答えられるようになっている。</p> <p>＜科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫＞</p> <p>○観察・実験において、基本的に見開き右ページが「課題をとらえる」、次ページ見開きに「方法及び結果、考察のポイント」、次ページ見開き左側に「結果、考察の例」という4ページ構成となるよう工夫されている。また、1単位時間ごとに「この時間の見方・考え方」が明記されており、見通しがもちやすくなっている。</p> <p>＜日常生活や他教科との関連を図るための工夫＞</p> <p>○コラム「SDGsを意識して脱炭素社会へ」が随所にあり、日常生活との関連に気付けさせる事をおして持続可能な社会の担い手となるよう企図されている。また、最新の科学ニュースが一週間単位で更新され、ウェブページで見ることができるため、より日常生活と科学のつながりを実感しやすくなっている。</p>	
資 料	<p>○基本操作や資料等が「補充資料」として50ページほどにまとめられていて、必要に応じて参照できるように工夫されている。</p> <p>○挿絵、写真、図表などを全体的になるべく大きくしており、視覚的にも理解を深められるような工夫がされている。また、生徒用端末を活用することで、すべての紙面がデジタル教科書となり、科学的事象をより理解しやすいものになっている。</p>	
表記・ 表現	<p>○新出用語や単位は太字で大きめに表している。また、注意事項は黄緑色の枠の中の赤字で、目立つようになっている。</p> <p>○文字サイズやフォントに明確な差をつけており、様々な発達段階の生徒が読みやすいように工夫されている。また、観察・実験の手順を写真で詳しく提示している。さらに6か国語に対応し、生徒の多様な読み方に対応している。</p>	
総 括	<p>○教科書の構成に意図された独自の工夫があり、家庭学習にも活用しやすい。</p> <p>○教科書の内容だけでなく科学の最新情報を毎週配信しているので、最新のニュースなどに関連付けた授業を展開することができる。</p> <p>○ワークシートや授業づくりのヒントが多く掲載されていることから、生徒の実態に合った授業を行うことができる。また、ミライ教科書により、探究活動から振り返り、予復習などで個別最適な学びが実現できるように工夫されている。</p>	

教科【理科】・種目【理科】

書名 項目	自然の探究 中学理科	17 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 教出 </div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各節ごとに課題と結論が同色囲みではっきりと示されていることで、探究の流れとともに、知識が定着しやすくなるよう工夫されている。学力の定着と向上のために、①「要点をチェック」→②「要点と重要用語の整理」→③「基本問題」→④「活用問題」→⑤「学年末総合問題」の5つのステップが用意されている。初出の基礎技能は、観察・実験の前や巻末資料に掲載されており、随時確認できるようになっている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○自分の考えを持ち、話し合いをし、考えを共有し、練り上げながら学習を展開していく構成になっている。また、実験の考察の「実験結果から考えよう」が、思考力・判断力の育成の助けとなっている。さらに、主体的な学びを支えるレポートの書き方を示し、実験結果を表現する力を育成できるよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○単元や章の始めに生徒の興味関心を引くような現象を紹介するなど、探究心を高める導入となっている。また、「学習前の私」、「学習後の私」を設定することにより、知識が身についていることを実感させ、学習意欲や探究心が向上するように工夫されている。さらに、「やってみよう」、「チャレンジ」などにより主体的な学びにつながるように工夫されている。 </p> <p> <科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫> ○巻頭の折り込みの「探究の進め方」により、科学的に探究する学習活動の基本や流れを確認することができるようになっている。また、挿絵の生徒同士の会話や教師の言葉などにより、科学的な見方や考え方の助けとなるよう工夫されている。さらに、実験の別法が紹介され、学習活動の充実が図られている。 </p> <p> <日常生活や他教科との関連を図るための工夫> ○随所に掲載されている「ハローサイエンス」等の読み物資料により、学習内容の日常生活での活用例や関連する他教科、安全、歴史、環境などとの関係を理解できるようになっている。また、防災・減災やSDGsについては、3年間を通して学習がつながるように構成されている。 </p>	
資 料	<p> ○本文の文字数は必要最低限に抑えられ、その分挿絵、写真、図表を充実させている。 ○ページ横にQRコードを配置しており、生徒用端末を用いて現象等を映像で確認しやすくなっている。学習内容と関連したデジタルコンテンツを集めたウェブサイト「まなびリンク」や「まなびリンク+」の掲載箇所が約5倍に増えるなど充実している。 </p>	
表記・ 表現	<p> ○新出用語や単位が太字ゴシック体のオレンジ色で表され、目に付きやすいようになっている。また、観察・実験の注意事項に黄色の△マーク、禁止事項に赤色の⊗マークが使われ、安全への配慮がなされている。 ○AB変型判を採用することにより、単元扉をつけている。また、大きい写真や発達段階に配慮した文字の大きさ、視点移動で迷わないデザインを採用している。 </p>	
総 括	<p> ○単元配列が指導時期や学習内容のつながりに配慮されたものになっており、実態に応じた指導計画を立てられるように工夫されている。 ○すべての学年で全体を通して常に課題→結論がはっきりと示されており、理解しやすく学び直しもしやすい構成となっている。 ○各単元で1カ所程度、探究の進め方に沿った指導が効果的な部分に「疑問から探究してみよう」が設定してある。探究する力を育成しやすいように工夫されている。 </p>	

教科【理科】・種目【理科】

書名 項目	未来へひろがるサイエンス	61 啓林館
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○各単元の前に「サイエンス資料」として観察・実験器具や基礎操作がまとめられており、基本的な技能の習得の助けとなっている。また、デジタルコンテンツ動画で、「実験のスキル」や「実際の実験」、「練習問題の解説」等を視聴することができる。反復学習もできるため知識・技能が定着しやすくなっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○各単元に設定された「探Q実験・実習」に対応した「探Qシート」が巻末にあり、切り離してポートフォリオとしても活用できるように工夫されている。また、「Action活用してみよう」で課題解決によって得た知識・技能を活用して思考力や表現力を養うことができる。思考や表現が苦手な生徒でも、QRコードを読み取ることでヒントを得られるので、無理なく取り組むことができる。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○身の回りの疑問について考えることから単元が始まる構成であり、単元始めの「学ぶ前にトライ！」というコーナーが導入の助けとなっている。また、単元始めと終わりの「学んだ後にリトライ！」では、QRコードから振り返りシートを読み込めるようになっている。また、章始めには「つながる学び」があり、文章やQRコードで既習事項の確認ができるよう工夫されている。</p> <p><科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫></p> <p>○「観察・実験」は基本的に1ページにまとめられており、実際の実験・観察中に参照しやすいよう工夫されている。また、各単元に1つ「探Q実験・実習」が設定されており、巻末の「探Qシート」を活用しながら主体的・対話的に探究活動を行うことができるように工夫されている。さらに「みんなで探Qクラブ」が随所にあり、科学的に探究する力を育成できるように工夫されている。</p> <p><日常生活や他教科との関連を図るための工夫></p> <p>○随所に科学コラム「Action—活用してみよう—」があり、学習内容を日常生活に活用することで理解を深め、理科の有用性がわかるように工夫がなされている。また、SDGsや他の教科との関連がマーク等で明示されているので、教科横断的な理解につなげることができる。</p>	
資 料	<p>○観察・実験手順のQRコードは動画で確認することができるため、安全に観察・実験を行える。また、オシロスコープなど実験で使えるアプリなどが充実している。</p> <p>○挿絵、写真、図表などをなるべく大きくして視覚的に興味を引き、理解も深められるようになっている。また、補足説明が必要な部分にQRコードがあり、その場で解説動画を視聴できるように工夫されている。さらに、振り返りシートも充実している。</p>	
表記・表現	<p>○新出用語や単位はゴシック体の太字で表し、注意事項は黄丸にオレンジ色の「！」マークと文字で表示されており、目立つようになっている。</p> <p>○AB判の採用により写真や図をダイナミックにレイアウトしている。また、難易度が高いものはイメージしやすいように、身近な現象に例えてキャラクターが解説するなど生徒の興味関心を引き付けることができるように工夫されている。</p>	
総 括	<p>○科学的な探究を通して資質・能力を育てることに重点を置いており、「探Qシート」、「振り返りシート」などの記録方法に独自の工夫が見られる。</p> <p>○動画や学習用シートのみならず、オシロスコープなどの実験用の計器が端末で利用できるなど、1人1台端末を効果的に活用できるようなコンテンツが充実している。</p>	

教科【音楽】・種目【音楽(一般)】

項目	書名 中学音楽 音楽のおくりもの	17 教出
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新出の音楽記号や用語が出てきた際には、そのページ内にインデックスを表示し、楽典等が生きた知識となるよう工夫されている。 ○用いられている写真は色鮮やかでサイズが大きく、意欲的に知覚・感受して知識を習得できるよう工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ACTIVE！」では、音楽の見方・考え方を働かせ、より深い部分まで学習を深めることができるようになっている。 ○楽曲の背景となっている情景や資料の具体的な写真が多いためイメージがつかみやすく、自分なりに思いや意図をもって表現が工夫できるようになっている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻末資料が充実しており、生徒たちが疑問に思ったことや興味を持ったことをすぐに確認することができるよう工夫されている。 ○多くの鑑賞教材のワークシートには、「話し合おう」が設定されていて、自分なりに楽曲について思いや考えを持って課題に取り組めるよう工夫されている。 <p>＜音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○創作教材では、冒頭で創作する際のポイントを絞り、創作の手順が細かいステップに分かれて説明されていることで、苦手意識を持たず創意工夫ができるよう工夫されている。 ○歌唱教材についてはカラピアノやパート別旋律の音源をQRコードで視聴できるようになっており、いつでもどこでも技能習得の深化・補充ができるようになっている。 <p>＜生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○著作権についてQA方式で説明されており、作品を尊重する気持ちや著作権についての理解を促す工夫がされている。 ○「アウトリーチ」について取り上げ、中学校音楽で学んだ様々な分野の音楽をワークショップで楽しみ、また、就学前から親しんできた活動に注目させ、音楽と生涯にわたって関わりがあることや、次の世代にも引き継がれていく視点をもたせたる工夫がある。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の「学習MAP」が、1年間のシラバスのように作られていて、年度初めのガイダンスとして活用しやすく工夫されている。 ○QRコードが掲載され、解説動画を視聴することで指揮や創作などの表現を学び、学習を深めることができるようになっている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○各教材の題材の目標が、学習MAPと同様に領域・分野ごとに色遣いを変えて統一されている。 ○西洋音楽の鑑賞教材には、見開き右ページの右端に音楽史が確認できるよう掲載されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な音楽について比較して学習し、それぞれの曲の特徴を捉えながら学習を進められる工夫が随所に見られる。 ○「音楽のMAP」を中心に、それぞれの教材の系統性や、歌唱・鑑賞・創作領域の関連性を意識しながら学習できるよう工夫されている。 	

教科【音楽】・種目【音楽(一般)】

書名 項目	<h2>中学生の音楽</h2>	27 教芸
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○歌唱教材についてはカラピアノやパート別旋律の音源をQRコードで視聴できるようになっており、個の習熟に応じて学習ができるよう工夫されている。 ○「My Voice」では歌唱表現に必要な基礎的な内容が発達段階に応じて掲載されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「学びのコンパス」では表現を工夫するためのアイデアを、生徒が順を追って主体的に思考・判断・表現できるよう、工夫して掲載されている。 ○楽曲の背景となっている具体物の挿絵や写真が多く、時代を経て今に伝えたい作詞者や作曲者のメッセージを受けて、思いや意図をもって表現が工夫できるようになっている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭にある1年間の学習内容や教材ごとの学習活動の例示から、1年間もしくは1時間の見通しを持って教材に向き合えるようになっている。 ○様々な国や地域、ジャンルから曲が掲載され、各界で活躍する方が紹介されていることで、幅広く興味関心を持つことができるよう工夫されている。 </p> <p> <音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫> ○歌唱教材は、カラピアノやパート別旋律の音源をQRコードで視聴できるようになっており、いつでもどこでも技能習得の深化・補充ができるようになっている。 ○歌唱教材ではその教材の学習の軸となる目標が明示されているほか、疑問を投げかける形で要点が掲載されており、様々なポイントに目を向けて学習できるよう工夫されている。 </p> <p> <生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫> ○「生活や社会の中の音や音楽」では、音楽が人を支、文化の継承や発展に関わっていることに注目させ、音楽と生涯にわたって関わりがあることや、次の世代にも引き継がれていく視点をもたせている。2.3年下では、発達段階に考慮し、進路選択を行う3年生で音楽に関わる職業を取り上げるなどの工夫がみられる。 ○著作権について要点をしぼり、絵を交えながら説明されており、作品を尊重する気持ちや著作権についての理解を促す工夫がされている。 </p>	
資 料	<p> ○生徒向けにも教師向けにも、動画、音源、創作ツール、ワークシートなど、デジタルコンテンツが豊富に取り揃えられている。 ○QRコードが掲載され、解説動画を視聴することで指揮や創作などの表現を学び、学習を深めることができるようになっている。 </p>	
表 記 表 現	<p> ○各教材の学習目標や学習課題、学習活動、共通事項など、図形や色使いを変えたりして項目ごとに分かりやすく図式化されている。 ○歌詞や文章が写真の中に入っているときには、無地の部分に配置したり白文字を使用したりすることで、誰もが読みやすい工夫となっている。 </p>	
総 括	<p> ○生徒が「音楽的な見方・考え方」を働かせることができるよう、教材ごとに「音楽を形作っている要素」を明示している。また、「学習目標」を明示し、何を学ぶか明確に示している。 ○様々な音楽が掲載されており、それぞれの曲や文化のよさを感じ取りながら理解を深めていくことができるような工夫がされている。 </p>	

教科【音楽】・種目【器楽合奏】

書名 項目	中学器楽 音楽のおくりもの	17 教出
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○用いられている写真は色鮮やかでサイズが大きく、意欲的に知覚・感受して知識を習得できるよう工夫されている。特にギターは、技能習得について詳細な写真が多く示され、分かりやすく工夫されている。 ○ほとんどの楽器について、少ない楽曲に絞って技能が優しく身に付けられるよう工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「表現の仕方を調べてみよう」では分類される楽器ごとに構え方や音の出る仕組み、音色や旋律の吹き方の特徴を比較することで見方・考え方を働かせるヒントとしている。 ○吹奏楽器や弦楽器のまとめとして表現方法の違いをまとめるワークシートがあり、各楽器の良さを感じ取れるよう工夫されている。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各楽器のプロ奏者の言葉を載せることで、その楽器に対する興味を高めると共に、見方・考え方を働かせるヒントにもなっている。 ○題材のまとめの曲が織り込まれ、目標をもって楽しく取り組めるよう工夫されている。 <p>＜音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いくつかの楽曲や技能の取得についての音源をQRコードで視聴できるようになっており、いつでもどこでも技能習得の深化・補充ができるようになっている。 ○基礎からはじまり「深めてみよう」まで、段階的に難易度が上がっていく構成となっており、創作と関連付けて学習できる教材もある。 <p>＜生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に国内3か所のストリートピアノを取り上げ、社会で人と人をつなぐ場面を紹介して生涯にわたり豊かに関わっていけるよう工夫されている。 ○吹奏楽器や弦楽器のまとめの発展として世界の様々な楽器に着目させて、文化や伝統との関わりについて考えられるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○いくつかの楽曲について音源が用意されている。 ○QRコードを読み取ることで、模範演奏や演奏の仕方の解説など、教科書だけでは伝わらない様々な資料に触れることができる。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○楽器ごとに、着目すべき音楽用語の色使いが統一されている。 ○巻末で音符・休符・記号等の解説が示されており、掲載曲に書かれている記号が学習できるようになっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの楽器の項目に参考曲が複数掲載されており、その曲を比較鑑賞することで更に学習が深まるよう工夫されている。 ○各楽器の基礎的なことから詳しく掲載されており、生徒の実態に応じて活用することができる。 	

教科【音楽】・種目【器楽合奏】

書名 項目	中学生の器楽	27 教芸
内 容	<p>＜知識及び技能が習得できるようにするための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な奏法だけでなく、様々な奏法を紹介することで、創意工夫を活かした表現をするために必要な知識や技能を習得されるよう工夫されている。 ○リコーダーはイラストや写真を盛り込み、その他の楽器は写真や様々な種類の楽器や演奏方法について詳細な写真が多く示され、意欲的に知覚・感受して知識を習得できるよう工夫されている。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽器の配列がリコーダーとギターの後には和楽器にまとめられ、打楽器は小物楽器に絞られて、小学校の器楽の発展として構成されている。小学校での学びを発展させて表現力を高めていけるよう工夫されている。 ○「学びのコンパス」では主体的・対話的で深い学びにつながるようなアプローチのヒントが掲載されており、思考、判断しながら学習を進めていくことができるような工夫がある。 <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習段階ごとや楽器、楽曲ごとに、学習目標や活動文、活動のポイントが示されていて、主体的に目標をもって活動できるよう工夫されている。 ○QRコードにて伴奏動画を流すことができ、生徒が自主的に楽しく練習するための工夫がなされている。 <p>＜音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽曲の伴奏や技能の取得についての音源をQRコードで視聴できるようになっており、いつでもどこでも技能習得の深化・補充ができるようになっている。 ○ソプラノリコーダーとアルトリコーダーのどちらも学習できるように楽譜が掲載されている。また、難しい運指はページ内に示されており、躓きがないような配慮がある。 <p>＜生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な地域、国、ジャンルの音楽を取り上げることにより、多様な音楽・多様な他者の存在を知り音楽文化と豊かに関わるきっかけを提示している。 ○身近で有名な曲がリコーダーや和楽器で演奏できる楽譜を掲載し、親しみをもって表現活動ができるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○リコーダー以外の楽器について、少ない楽曲に絞って技能が優しく身に付けられるよう工夫されている。 ○QRコードが掲載され、解説動画を視聴することで指揮や創作などの表現を学び、学習を深めることができるようになっている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○楽器名は、大きな白抜き文字で表記されており、楽器ごとに、着目すべき音楽用語の色使いが統一されている。 ○文などにはUDフォントが使用されている。また、色覚特性への配慮がされている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○目次以外にも、各教材が資質・能力の三つの柱で分けられて掲載されたページがあり、「身に付けられる力」が何なのかを意識できるようになっている。 ○基礎から応用まで取り上げられており、生徒の実態に応じた内容を取り入れていくことができる工夫がある。 	

教科【美術】・種目【美術】

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p>美術</p>	<p>9</p> <p>開隆堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材ごとに要点をまとめた説明などがあり、美術科における基礎的な技能の習得に役立てることができる工夫がされている。 ○鑑賞活動として取り上げたい著名な作品が多く掲載されている。また、日本と世界の作品の比較は美術への興味を高めるものとなっている。 ○見開きページが効果的に活用され、ページの構成に作品の意図を考えた工夫がみられる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材に対する「学習の目標」の内容が「知・思・学」の資質・能力の観点でわかりやすく示されている。明確な文章表現とキャラクターのふきだしにより考えを深めることができる工夫がある。 ○作品の一部を「原寸大」で掲載することにより、作品のよさをより実感し、深く味わうことができる工夫がされている。 ○デジタルコンテンツにより、作品を色々な角度から見ることができ、特に立体表現において効果的な資料が用意され、見方・考え方を深めることができる工夫がある。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各題材の見出しの一言がわかりやすく、何を学ぶのか方向づけしやすい工夫がされている。 ○「鑑賞」の提示により、どの題材も鑑賞を入りに学びをイメージしやすくする工夫がみられる。 ○キャラクターの吹き出しから、制作のポイントや、作品の見方など、生徒の気付きのきっかけに繋がる工夫がされている。 <p><一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「生徒の言葉」やイラストの吹き出しから、個々の作品の発想や構想、表現などを学び自らの創造活動に生かすことができる工夫がされている。 ○生徒作品を多く載せることで、身近な作品として捉えることができ、生徒の制作意欲につなげることができる。 ○絵画や彫刻の作品にこだわらず、生活や社会の中にある美術に触れてあり、身の回りにある美術に関心を持たせる工夫がされている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○2冊（1年、2・3年）に分冊され、それぞれ内容も、掲載作品も学年に適している。 ○「絵や彫刻」、「デザインや工芸」分野別に色分けされていて確認しやすい。 ○写真や文字のレイアウトがスッキリしていて、見やすさの工夫がされている。 ○私たちが生活している社会の中の美術やアートを取り上げ、美術を身近なものに感じることができる工夫がされている。 ○新旧幅広い作品や美術作品における多様性も踏まえた作品が取り上げられている。 	
<p>表 記</p> <p>表 現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○題材ごとの主に身に付けさせたい力がわかりやすく提示されている。 ○「学習の目標」は、美術の苦手な生徒にとって課題の方向性など確認しやすいものとなっている。 ○QRコードは、現在の授業の形に合っていて、教師が授業の中で活用しやすい。 ○「美術の用語」は、美術の学習として大事にしたい内容をおさえている。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○表紙の凹凸により、触れることのできる教科書となり、生徒の興味を引くものになっている。教科書の規格が大きく、無理なく作品や資料がページに収まっていて見やすさが特徴である。 ○作品については、新旧の有名作品から生徒作品、また日常生活の中の美術作品まで時代の流れに沿った作品がバランスよく掲載されている。 ○「学習の目標」や身に付けさせたい力など、授業の方向性を示すものであり、課題の確認や振り返りとして美術科の授業で毎時間活用しやすい工夫がある。 	

教科【美術】・種目【美術】

書名 項目	<h2 style="font-size: 2em;">美術</h2>	38 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">光村</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「資料」が別冊になっており、道具の使い方や制作の進め方が見開きでまとまっていて見やすい。 ○美術科の「共通事項」を「知識」の観点で学習できるように、各題材の作品に「POINT」を吹き出して示し、色や形、材料などの特徴に気付くことができるように工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体的に鑑賞のページが多いが、身近な生活や社会問題や環境など、現代の子供たちが寄り添いやすい視点で展開されている。1年生は親しみやすい身近な生活から触れるものが多く、2・3年は社会や文化的価値が大きく扱われている。 ○題材ごとに「みんなの工夫」というコラムがあり、実際に制作した生徒の様子や、考え方が載っており、発想や構想、考え方のヒントが得られるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞作品には考えるヒントが、題材には「POINT」として、自分だったらどう取り組むかを考えるヒントがそれぞれ発問の形で表記されており、教科書を見ることによって自分で考えることができるように工夫されている。 ○個性が大切な教科として、「多様性」や「自分らしさ」を認め合えるようなページ展開がある。道徳や、社会、英語など教科横断的なつながりも示されている。 ○作品を制作して終わりではなく、どのような思いで制作したかを考えさせたり、自分の思いを他と交流する場面を想定したりするなど、人と人の関り、人間性を意識している。作者の言葉や、鑑賞の様子が動画としてQRコードで見られるように工夫されている。 <p><一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人一人のよさとして、「多様性」や「自分らしさ」を認め合えるようなページ展開がある。道徳や、社会、英語など教科横断的なつながりも示されている。 ○それぞれの制作の意図を大切にできるように、作品それぞれがどのような経緯で作られたのか、流れや思いなどを載せている。また、作者自身の声を聴けるQRコードもあり、個々の思いの大切さを感じ取ることができるように工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○「資料」が別冊となっていて、題材とは切り離して、知識・技能を学ぶことができるよう工夫されている。 ○2・3年の鑑賞用の大きい図版は、16ページにわたり、全面和紙に印刷されたページとなっており、紙の質感も含め、作品のよさを感じることができるようになっている。特に和の色として中間色の微妙な変化の美しさが際立つようになっている。ページの折目目が屏風の折り畳む位置に合わせてあり、屏風の立体感を実感しやすい工夫がされている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○ページごとに「表現」「鑑賞」のマークがあり、その横に「〇〇しよう」の表記があり、ねらいと学習内容がはっきり示されて学習に取り組みやすい。 ○見開きごとに3観点の「目標」がマークとともに示してあり、学習指導要領に基づいた指導と評価の一体化を実現するための工夫がされている。 ○「〇〇科とのつながり」が、他の教科と連携して考えを広げたり、学習したりすることができるページに示してあり、視野を広げることができるようになっている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞をベースとして、人と人とのつながり、成長を大切にしている。作品の裏にある思いや、背景を考えさせたり、交流を通して学びあったりすることを多く取り入れている。 ○鑑賞の資料が多く掲載されている。制作の題材も、作品の鑑賞からつなげて展開している。一題材において生徒の作品より、著名な作品や伝統文化財の資料が多い。 ○学習指導要領に対応し、3年間を見通した題材の系統性を持たせている。「美術1」から「美術2・3」への流れやつながりも意識された流れになっている。 	

教科【美術】・種目【美術】

書名 項目	<h1>美術</h1>	116 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 日文 </div>
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○題材の「学びの目標」や「鑑賞の入り口」において、造形的な捉え方ができる言葉や文章表現の工夫がある。 ○「造形的な視点」により〔共通事項〕（知識）を意識することができ、表現の活動と知識を結びつけることができる工夫がある。 ○巻末の「学びを支える資料」により、基礎的な技能を学ぶことができる工夫がある。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「鑑賞の入り口」により表現・鑑賞の双方で働く「中心となる考え」を示し、鑑賞と表現活動を行き来し、学びを深められる工夫がある。 ○掲載作品の作者の言葉が多く掲載され、生徒が自分の発想・構想のヒントを得たり、考えを広げたり深めたりできる工夫がある。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○各巻の表紙から6ページにわたるオリエンテーションページでは、各学年でどんなことを学ぶのか、言葉と図版で生徒にわかりやすく示す工夫がみられる。 ○「生活の中の美術」や「人生と美術の関わり」など美術の力が強調されている。 </p> <p> <一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫> ○生徒が友人と話し合ったり、相談したりしながら協働して造形活動を行う様子が紹介され、対話を通して一人一人のよさを認め、学びを深める授業が紹介されている。 ○美術の学びを生かしている人々やアーティストの考えを掲載して多様な見方・考え方に導き、単なる知識や理論の学習に偏らない工夫がみられる。 </p>	
資 料	<p> ○豊富なQRコンテンツにより動画で技法を確認できる。 ○1学年の教科書では両観音開きのページを使って、実際に折って立てて鑑賞できる屏風作品が掲載されている。 ○2・3年上では浮世絵が高精細で印刷されたり、縄文土器が実物大で掲載されたりして実感的理解を生み出す資料の工夫がみられる。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○全体を通してカラーユニバーサルデザインに配慮して編集されている。 ○文字は読みやすいUDフォントが使用されている。 ○「学びの目標」「鑑賞の入り口」「造形的な視点」「作者の言葉」など学習段階に沿って注目すべき内容は色やデザイン・フォントを工夫してわかりやすく配置されている。 </p>	
総 括	<p> ○1学年は小・中連携を意識した構成、2・3年下は美術の学びを振り返りこれからの生き方にどう役立てるか考える構成など、3年間の成長に寄り添い、授業で活用しやすい3分冊構成に工夫されている。 ○「鑑賞の入り口」「表現のヒント」など題材ごとの学習プロセスが明確で、教師にとって授業を組み立てやすい構成になっている。 ○自然や人権などの現代的な課題への配慮や「道徳との関連」により、「美術科の学びを通じた心豊かな生活の創造」への手がかりが示されている。 </p>	

教科【保健体育】・種目【保健体育】

書名 項目	新しい保健体育	2 東書
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○基礎的・基本的な知識・技能は簡潔に記述されており、重要語句は太字で示すなど工夫されている。 ○各章末に章末問題のQRコンテンツがあり、知識の習得状況を確認することができるよう配慮されている。 ○【巻末スキルブック】には、保健分野の技能や命・健康を守るために必要な20のスキルが見やすいイラストや写真、QRコンテンツで示されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各単元にある「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」では、それぞれのステップに応じて思考力・判断力・表現力を育成することができるような発問が設定されている。 ○「活用する」では、習得した知識・技能を活用し、他者やグループで深く考える活動が設定されており、それを助けるQRコンテンツが用意されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○日常経験などから自他の課題解決につなげる発問が設定されており、主体的に課題解決に取り組めるよう配慮されている。 ○各章末のまとめには、「日常生活に生かそう」「SDGsについて考えよう」のQRコンテンツが設けられており、学びを生活や社会に生かす態度を養うことができるよう工夫されている。 </p> <p> <生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫> ○スポーツには様々な違いを超えて人々を結びつける力があることを示す事例が掲載されており、運動やスポーツを通して仲間と交流する意義や楽しさについて考えられるよう工夫されている。 ○随所に記号やマークで体育分野と保健分野の関連が明記されている。 ○SOGIEの視点から構成された「性の多様性」という資料が掲載されており、発育・発達や多様性には個人差があるということがわかりやすいよう工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○教科書中の資料だけでなく、実験・実習の様子やアニメーションなど多様な動画で生徒の興味・関心をひく工夫がされている。 ○実際に体験するのが困難なこと、文字と写真だけではイメージしにくいことについて、QRコンテンツ上で手を動かし、疑似体験ができるシミュレーションを導入し、理解が深まるよう工夫されている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○教科書の本文は明朝体、本文中のキーワードはゴシック体で区別されており、一目でわかるよう配慮されている。 ○教科書の左側は本文、右側は資料と位置を固定した定型デザインとなっている。 ○紙面の色数が限定されており、見やすく、落ち着いたレイアウトとなっている。 </p>	
総 括	<p> ○1単位時間の中を「みつける」「課題の解決」「広げる」というステップを学習の流れに沿って配置し、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する工夫がされている。 ○約150点の動画・思考ツール・シミュレーション・章末問題など、QRコンテンツが充実しており、生徒の興味・関心や思考が深められるよう工夫されている。 </p>	

教科【保健体育】・種目【保健体育】

書名 項目	中学校 保健体育	4 大日本
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○感染症や熱中症、情報リテラシー等についての現代的な諸課題に対応した内容を取り扱っている。それにより、生徒達にとって身近に必要な知識及び技能を習得できるように工夫されている。 ○実習を行う分野に関して、図を用いて、分かりやすく実践しやすい形式で、掲載されている。特に心配蘇生法の分野において、折り込みのページになっており、全体の流れが一覧になっていることで、生徒にとって分かりやすいよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元のはじめに「つかもう」のコーナーがあることで、個々で考えたり、グループで考えたりする時間を設けることができる。その結果、単元の課題やねらいを理解できるよう工夫されている。 ○各単元の中で、「やってみよう・話し合ってみよう・活用して深めよう」のコーナーがあることで、意識的に考えたり伝えたりする時間を設けることができるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○本文を左ページ、資料を右ページに分けたシンプルでわかりやすいレイアウトに統一しているため、生徒にとって見やすく、理解しやすいよう工夫されている。 ○二次元コードからウェブコンテンツに容易にアクセスできるので、意欲的な活動につながる工夫がみられる。 <p><生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各単元の終わりには、キーワードととして重要語句がまとまっていることや、各章の終わりには、学習のまとめがあることで、振り返りを行いやすいよう工夫されている。 ○各ページにトピックスやミニ知識、キーワードやリンク等を掲載することで、より深い学びと理解につなげることができ、生涯にわたる健康の保持増進や豊かなスポーツライフを実現できるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○資料が本文と明確に区別されているため、一目で構成がわかり、学習に困難のある生徒にとっても非常に分かりやすく構成されている。また、資料も豊富なため、生徒の興味・関心につながる教科書になっている。 ○資料を参考に、「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」等の問いが設定されているため、主体的で対話的な活動に取り組むことができる。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○「ねらい」「つかもう」「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」「活用して深めよう」などの表記によって、授業の進め方がイメージしやすく、生徒への指示が出しやすい。 ○本文には、UDフォントが使用され、全体的に色合いのコントラストが美しく、興味・関心を高めることができる。 ○「資料・トピックス・ミニ知識・注意」等、10個のマークが使用され、より効果的な学びができるよう工夫されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○本文と資料が明確に区別されていること、「ねらい」「つかもう」「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」「活用して深めよう」などの表記があることで、生徒にとって学習がしやすく、教員にとっても授業を進めやすい構成になっている。 ○ウェブコンテンツも充実しており、生徒の興味・関心を引き出す工夫、生徒の「できた・わかった」につながる工夫がされている。 	

教科【保健体育】・種目【保健体育】

書名 項目	最新 中学校保健体育	50 大修館
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○基礎的・基本的な知識・技能は簡潔に記述されており、重要語句は太字で示すなど工夫されている。 ○技能を身につける学習内容については、鮮明な写真・イラスト・動画で習得できるよう工夫されている。 ○QRコードを読み込むと、Web上のクイズがあり、答えることで学習した内容を振り返ることができ、知識の習得ができるよう工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○単元終わりにある「学習のまとめ」に話し合いの課題が設定されている。自らの考えを発表する課題や提示された事例について話し合う課題などがあり、伝え合うことで思考を高められるよう工夫されている。 ○「章末のまとめ」に、その章で学習したことをもとにして、思考・判断し、その結果を表現する問題が設定されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「章のとびら」に中学生が抱く疑問が掲げられており、学習課題を自分のこととして捉えられるよう工夫されている。 ○中学生が興味・関心を持つような、コラム・事例が各所に設けられており、自らの心身の状態と比較しながら、今後の生活への見通しが立てられるよう配慮されている。 ○各章の見出しが工夫されており、要点を生徒が一目で理解できるよう工夫されている。 </p> <p> <生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫> ○「体育の窓」、「保健の窓」が設けられており、体育分野と保健分野に関連する内容の指導が充実できるよう工夫されている。 ○「性の多様性」について、図・イラスト・事例などで詳しく取り上げられており、基本的で正しい情報や当事者が抱える不安や悩みについて理解できるよう工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○わかりやすい資料が掲載されており、資料から読み取るべきポイントが緑色で囲まれ、生徒の理解を助ける工夫がされている。 ○多くの動画コンテンツがあり、生徒の学習意欲を喚起する工夫がされており、同時に教科書内容への理解が深まるようになっている。 ○教科書の内容が、別添のパワーポイントでまとめられており、映像コンテンツとして見やすく学べるよう工夫されている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○要点を簡潔にまとめた見出しになっている。教科書中の重要語句やキーワードには全て振り仮名がついており、漢字が読めないつまづきを避ける工夫がされている。 ○優しい色合いで構成されており、認識の難しい色同士が隣り合わないようするなど教科書が見やすくなるよう配慮されている。 </p>	
総 括	<p> ○学習指導要領の評価の観点と合致する工夫がされており、生徒が自分自身の事として捉え、主体的に学習できるよう配慮されている。 ○見開き1ページの中に、わかりやすい導入、知識を深める資料・動画、個人やグループで行う学習のまとめで構成されており、学習全体が見通しやすく、正しい知識が身につくよう工夫されている。 </p>	

教科【保健体育】・種目【保健体育】

書名 項目	新中学 保健体育	224 学研
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各時間の最後に、「学びを生かす」のコーナーがあることで、その時間で学んだ知識をまとめたり、深めたり、活用したりできるよう工夫されている。 ○身につけるべき技能には「技能」のマークがあり、イラストや写真のほか、二次元コードから参照できる動画が用意されており、学習を深められるよう工夫されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各単元のはじめに「ウォームアップ」のコーナーがあることで、個々で考えたり、グループで考えたりする時間を設けることができる。その結果、単元の課題やねらいを理解できるよう工夫されている。 ○1時間の流れは、「ウォームアップ」→「学習の課題・キーワード」→「エクササイズ」→「学びを生かす」が基本になっており、毎時の授業で主体的・対話的な深い学びができるよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○一人一台端末時代の学びに対応し、豊富なデジタルコンテンツが用意されていることで、生徒達が意欲的に学習に取り組むための工夫がされている。 ○実習では、行い方の要点を押さえるだけでなく、ペアやグループで、互いに見る視点が提示してあることで、教え合いながら学べるように構成されている。 </p> <p> <生涯にわたり心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成するための工夫> ○現代を生きる中学生の身の回りにあるさまざまな課題を取り上げ、日常生活につなげて学べるよう工夫されている。 ○キャラクターの「ウィズ」がそれぞれの単元で、追発問や説明を語りかける工夫がみられる。それにより、学習を広げたり、深めたりすることで、生涯にわたる健康の保持増進や豊かなスポーツライフを実現できるよう工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○各ページに様々な資料が掲載されていることで、生徒達の興味・関心につながるよう工夫されている。 ○デジタルコンテンツについて、動画だけではなく、ワークシートや外部サイトへのリンク等、生徒にとっても教員にとっても必要とされる豊富な資料が用意されている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○本文と資料が近くに配置され、リンクするように表記されている。 ○イラストは、多様性に配慮し、登場する人物の男女比率や役割等、偏りなく表現されている。 ○本文には、UDフォントが使用され、色合いについても全体的に目に優しく、見やすく、分かりやすい構成になっている。 </p>	
総 括	<p> ○導入では、「ウォームアップ」から学びがスタートすることで、生徒の興味・関心を高めることができ、主体的な学びが期待できる。 ○展開では「エクササイズ」や「学びを生かす」を行うことで、課題発見力や課題解決力、実践力を育むことができる。さらに、個だけではなく、ペアやグループで共に考え、よりよい解決に向かう工夫された課題があることで、効果的な学びが期待できる教科書となっている。 </p>	

教科【技術・家庭】種目【技術分野】

書名 項目	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	2 東書
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○技術の原理・法則や基礎的な技術の仕組みについて、本文の内容を裏付ける図などが掲載され、科学的な思考に基づく知識が習得できるよう工夫されている。 ○生徒のつまずきやすい内容や安全に実習を行うポイントなどを「TECHLab」としてまとめてあり、技能の理解と習得を支える工夫がされている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○社会の中で行われている問題解決や製品開発のプロセスを紹介する特集ページがあり、自身の問題解決に生かすことができるようなつくりになっている。 ○各内容とも最初に基本的な知識の習得を行い、その後「技術の問題解決の工夫」「問題の発見と課題の設定」を行う学習内容で構成され、第2章の最後に「問題解決の評価、改善・修正」を取り上げ、自分たちの学習過程を振り返らせるとともに、生徒自身の問題解決に導くため、「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作・制作・育成」「評価、改善・修正」の流れを統一的に示されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「技術のめがね」「最適化の窓」では、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うことができる。 ○技術の豆知識で生徒の興味を引き出せるような工夫がある。 </p> <p> <技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫> ○巻頭の「SDGsとTechnology」では、持続可能な社会の構築のために技術が果たしている役割について分かりやすくするよう工夫されている。 ○巻末の「Society5.0のその先へ」では、AIやIoT、ビッグデータについて示されており、持続可能な未来のためにどのようなことができるか考えさせるよう工夫されている。 </p> <p> <よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫> ○「ガイダンス」では、生徒自身が技術の見方・考え方をもちながら、幅広く考えることができるように工夫されている。 ○各内容の最終章では、技術の見方・考え方を働かせて最適化について考慮し、これからの新しい技術の開発と持続可能な社会の実現について考えたり調べたりできるよう工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○各編の最終章には、生徒が、技術を評価し、適切に簡易・運用したり、新たな発想に基づいて改良・応用したりするためのワークシートが掲載されている。 ○技術に携わる人を紹介する「技術の匠」や、先進的な分野の「技術の匠」を紹介する「すごいぞ! 技術」が掲載され、生徒の勤労観・職業観を育むことができるよう工夫されている。 ○QRコンテンツが豊富、動画、シミュレーション、思考ツール、ワークシートなどに分かれている。ページを開くとリンクがわかりやすく使いやすい。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○書体はUD書体が使用されている。また、可読性を高めるとともに、重要語句は太字で表現されている。さらに、カラーバリアフリーの観点から、配色とデザインについて、色覚に関する校閲を受けるなど、ユニバーサルデザインに配慮されている。 </p>	
総 括	<p> ○各内容は、「理解する」「問題解決に取り組む」「つなげる、広げる」のまとまりで構成され、学習の流れが見えるデザインになっている。 ○「統合的な問題解決」では、新しい技術イノベーションにつながる問題解決になるために、四つの技術を統合するよう工夫されている。 </p>	

教科【技術・家庭】種目【技術分野】

書名 項目	新技術・家庭 技術分野 明日を創造する	6 教図
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○基礎基本の知識と技能を1章で習得するように構成されており、第2章の「プチ問題解決にチャレンジ!」の製作題材は基礎技能が学べる題材になるよう工夫されている。 ○教科書と別冊「スキルアシスト」により、写真やイラストと見比べることで技能の自己チェックを行えるようになっている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各内容とも第1章で基本的な知識と技術の工夫について学び、その後第2章で設計や計画について学習するよう構成されている。また、1章と2章の最後の「学んだことをまとめよう」で、身近な地域の取組を調べて自分たちの学習過程を振り返らせるよう工夫されている。問題解決の流れを「イメージしよう」「設計(計画)しよう」「完成させよう(育てよう)」「活用しよう(振り返ろう)」の4ステップで統一的に示されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うために「未来をつくろう」「やってみよう」という欄が設けられている。 ○日常の場面を1コマ漫画で取り上げ、生活の中でどのように技術が使われているのか、生徒が興味を持ちやすいよう、技術を見つけることができる構成になっている。 </p> <p> <技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫> ○各内容の「社会と発展と技術」では、技術の役割や影響を理解し、プラス面、マイナス面などを多面的に評価することで技術をいかして持続可能な社会を創造できる生徒を育成できる構成になっている。 ○SDGsの17の目標のマークが関連する学習内容に示されており、日本や社会で起こる諸問題を、自らに関わる課題として捉えさせるよう工夫されている。 ○巻末の「未来の社会を創造しよう!」では、3年間で学んだことを振り返り、未来にどのような技術があったら役に立つか考えさせるよう工夫されている。 </p> <p> <よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫> ○各内容の最終章では、技術の見方・考え方を働かせて、今ある技術のプラス面・マイナス面を考慮し、持続可能な社会の実現について考えたり調べたりできる工夫がされている。 </p>	
資 料	<p> ○基礎技能をまとめた別冊のスキルアシストがあり、スペースをとらず実習中に使いやすい。 ○実習題材が複数あり、地域や学校の実態に応じ選択して指導できるよう工夫されている。 ○生徒自身の設計や計画を記入できる「設計・計画シート」「計画・育成シート」が用意されている。 ○技術に携わる人を紹介する「技ビット」や、様々な製品に込められた技術などを紹介する「スゴ技」が掲載され、生徒の勤労観・職業観を育むことができるよう工夫されている。 ○技能に関する動画、理解を深めるためのコンテンツ等にリンクするQRコードがある。 </p>	
表 記 表 現	<p> ○書体はUD書体が使用されている。また、カラーバリアフリーの観点から、色覚に関する校閲を受けるとともに、重要語句は青太文字にし、視認性を上げるように配慮されている。 </p>	
総 括	<p> ○各内容は、「技術を見つめよう」、「技術をいかそう」、「未来をつくろう」のまとまりで構成されている。 ○「夢をかなえる技術」では、夢を形にしたり、工夫し創造することの大切さを伝えたりするために、領域を横断した様々な技術を紹介するよう工夫されている。 </p>	

教科【技術・家庭】種目【技術分野】

書名 項目	<h2 style="text-align: center;">技術・家庭 技術分野</h2> <h3 style="text-align: center;">テクノロジーに希望をのせて</h3>	<h2 style="text-align: center;">9</h2> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">開隆堂</div>
内 容	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識や技能の習得とともに、「生活の中の真理」を追究できるようになるために、科学的な根拠を基に技術を理解・習得できるよう工夫されている。 ○「実験」や「調べ学習」を数多く取り上げ、科学的な根拠を伴い技術を理解できるよう工夫されている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各内容とも最初に基本的な知識の学習を行い、その後「問題解決の手順(内容A)」「技術による問題解決(内容BCD)」について学習するよう構成されている。また、技術の学習で行う問題解決の流れを見開きで表記されており、ガイダンスでは漫画形式で問題解決の流れが示され、各内容では「問題の発見と課題の設定」「構想と設計(計画)」「製作(制作、育成)」「成果の評価と改善」で統一的に示されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ガイダンスでは人気アニメのキャラクターを利用して興味関心を高めさせた。 ○学習コンテンツを充実させ多様な学びに対応できるように工夫がされていた。 ○適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うために「技術と私たちの未来」「学習を振り返ろう」という欄が設けられている。 <p><技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各内容の「社会と発展と技術」では、技術の「可能性」と「課題」について示されており、これからの技術とその活用について考えさせるよう工夫されている。 ○各内容のワークシートに、「技術とSDGsとの関連」について考えさせ、「SDGsの実現に向けてどのようにかかわっていたか」を振り返らせる工夫をしている。 ○巻末の「命を守る防災、医療・介護の技術」では、自然災害や病気・けがなどについて、3年間で学んだことを生かし、解決策について考えさせるよう工夫されている。 <p><よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各内容の最終章では、学習内容から技術の見方・考え方を働かせて社会とのつながりについて考慮し、新しい技術の開発と持続可能な社会の実現について考えたり調べたりできるよう工夫されている。 ○新しい技術の開発と持続可能な社会の実現について考え、調べたりできるよう工夫されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○技術に携わる人が「Interview」として紹介され、仕事内容や仕事に就いたきっかけが掲載され、生徒の勤労観・職業観を育むことができるよう工夫されている。 ○実習例を多く掲載し、地域や学校の実態に応じて選択して指導できるよう工夫されている。 ○既存の製品を調べて技術の見方を働かせるためのワークシート、問題解決について技術の見方・考え方を基に振り返るためのワークシートが掲載されている。 ○技能に関する動画、理解を深めるためのコンテンツにリンクするQRコードが備えられている。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○書体はUD書体が使用されている。また、重要語句は(ゴシック体)太字にして、表記のメリハリがつけられるよう工夫されている。さらに、カラーユニバーサルデザインに関して、校閲を受け、人によって受ける情報に差が出ないように配慮されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○各内容は、「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」のまとまりで構成されている。 ○「技術の出口」では、社会の問題に技術で対応するために、様々な技術を組み合わせた考え方を深められるよう工夫されている。 	

教科【技術・家庭】種目【家庭分野】

書名 項目	新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	2 東書
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「いつも確かめよう」で基礎的な技能がまとめて掲載され、動画コンテンツなど活用して基礎的な知識・技能を自分のペースで習得できるように工夫がされている。(P64～) ○デジタルコンテンツ内に「○×クイズ」があり、予習・復習として知識の定着を図ることができる。(P4) ○各編の最後に「学習のまとめ」、「大切な用語の確認」が掲載され、学習の振り返りができる構成になっており、基礎的な知識・技能が習得できるように工夫がされている。(P188) </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○小学校で学んだことが示してあり、学びの系統性が一目で分かるようになっており、各編の導入では、課題設定が記入できるように工夫がされている。 ○家庭分野の見方・考え方の例が示してあり、問題解決に生かすことができるように工夫がされている。 </p> <p> ○「調べてみよう」「やってみよう」「考えてみよう」では、主体的に調べたり、友達と検討したりするための発問を設けており、深い学びとなるような工夫がある。(P187) </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○自分自身の生活を振り返ったり、自分の考えを深めたりする場面が多く設けられており、生活に生かそうとする態度を育成できるように工夫がされている。 ○各章末に学習のまとめ「生活に生かそう」が設けられており、主体的に学習に取り組む態度の育成ができるように工夫がされている。 </p> <p> ○「プロに聞く！」では、家庭分野で学習したことをさらに深めて働いている人たちのコラムを紹介し、家庭分野の学習と社会とのつながりを感じられるように工夫している。(P131) </p> <p> <実践的体験的な活動の工夫> ○実習や生活で必要となる基礎的な技能が分かりやすく掲載されている。 ○選択できる実習例が多く掲載されている。 ○調理実習例では、QRコードから調理工程の解説動画を見ることができる。(P93) </p>	
資 料	<p> ○基本ページにおいて、「目標」「学習課題」「まとめの活動」などが全見開きの同じ位置に配置されるなど、レイアウトが工夫されている。(P40) </p> <p> ○1～6群の食品例では、原寸大の鮮明な食品写真があって量感を掴みやすく、学習効果を高めるための工夫がされている。(P44～) </p> <p> ○基礎的・基本的な実習例のほか、生徒の実態に合わせて資料を選択することができるように工夫がされている。 </p>	
表 記 表 現	<p> ○実習例では写真や図を使用し、安全・衛生の注意事項にマークを表記している。食物アレルギー物質を含む食材には黄色三角の注意喚起マークが表記されている。 </p> <p> ○ユニバーサルデザインフォントや、食生活は橙、衣生活は水色など項目ごとに色調を変化させるなど色彩特性に配慮されている。 </p>	
総 括	<p> ○ガイダンス後、B（衣食住の生活）C（消費生活・環境）、A（家族・家庭生活）の内容の順に配列され、巻末に「生活の課題と実践」が掲載されている。 </p>	

教科【技術・家庭】種目【家庭分野】

書名 項目	新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する	6 教図
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○見開きごとに、「見つめる」「見つめてみよう」「学ぶ」「振り返る」の4段階で構成され、問題解決的な学習を進めれば知識・技能が習得できるように工夫がされている。 ○学習のまとめりごとに「学習の振り返り」が掲載され、学習の振り返りができる構成になっており、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように工夫がされている。 ○調理の手順が縦の流れになっていて、ポイントが写真などで示され理解しやすい。(P122) ○学習の流れとして、「見つめる」で身近な気付きや疑問を促し、「見つめてみよう」で自分事として捉えさせる構成になっている。また、「学ぶ」で解説、「振り返る」ことで知識・技能の定着を図ろうとしている。(P174) </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○実習食材の先頭に1～6群のどの食品にあたるかサイコロの目を用いて表示されている。(P122) ○「学びを生かそう」は自己の取り組みを振り返り、自分なりの課題を見つけ出すことができる。次ページのステップに沿って課題解決へ繋がり、知識・技能を身につけやすい。(P32) ○実習題材では、中学生に身近なレシピを多数示してあり、家庭生活につながるよう工夫されている。 ○自分ごととして捉えられる内容の導入から始まり、問題解決的な学習の流れを明確にするような工夫がされている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「自分の課題を見つけ工夫し生活する」ための実践例が多く記載されており、実践しやすいように工夫がされている。 ○問いかけが多く設けられており、自分の生活から課題を見つけるきっかけになるように工夫がされている。 ○「メッセージ」や「センパイに聞こう!」では、関連するコラムとなっており、学んだことと社会とのつながりを実感することができる。(P23、35) </p> <p> <実践的体験的な活動の工夫> ○多くの実習例では、QRコードを読み込むと、丁寧な説明動画で工程を確認することができる。(P19) ○実習の際に重要になる安全面や衛生面についての記載があることで、生徒が実践することを想像して、課題に取り組むことができる。(P136) ○他領域と関連付けた実習例が多く掲載されている。 </p>	
資 料	<p> ○各種マークは、はっきりとした色使いで表されており、ページを開いた際に目に付く。また、全体的にレイアウトがカラフルな印象を受ける。(P72) ○実物大写真や多様なデジタルコンテンツ、コンピュータを用いたワークシートや計算ツール、食品シールの付録等、学習効果を高めるための工夫がされている。 ○調理の実習例では、食物アレルギーに対応した代替レシピが記載され、生徒の多様性に沿った工夫がされている。 </p>	
表 記 表 現	<p> ○二次元コードの横にデジタルコンテンツの内容が表記されている。 ○実習例では写真や図を使用し、衛生の注意事項にマークを表記している。食物アレルギー物質の食材には、赤い下線が引かれ、代替食材も記載されている。(P119) ○色遣いや図の見やすさ等、ユニバーサルデザインに配慮されている。 </p>	
総 括	<p> ○ガイダンスの後、A(家族・家庭生活)、B(衣食住の生活)、C(消費生活・環境)の内容の順に配列され、巻末に「生活の課題と実践」が掲載されている。 </p>	

教科【技術・家庭】種目【家庭分野】

書名 項目	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	9 開隆堂
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○技能面の写真は、拡大写真やイラストを使っていて分かりやすい。また、調理の手順は、横の流れ、かつ写真で示されているので理解しやすい。(P148) ○学習のまとめりごとに「学習のまとめ」がある。生活に生かすことのできる応用的な設問となっている。(P86) ○調理実習では「調理実習Q&A」、洗濯実習では「洗剤の働き」など原理を理解した上で実習を進められるよう工夫がされている。(P148、194) ○基本ページには「やってみよう」「考えてみよう」「話しあってみよう」の小項目があり、基本的な内容の理解を深めたり応用したりするための課題が設定されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○タイトルで何を学ぶのかが示され、科学的根拠に基づき、視覚的に理解しやすいようにまとめられており、学習の見通しがもてるように工夫がされている。また、興味・関心・疑問から、人やもの、事柄と対話し課題解決に向かう力を培えるように工夫がされている。 ○「持続可能な社会」の実現へ向けた中学生が主体的に考えるまとめのページがあり、今後の生活を展望して課題解決へ向けた力を養うことができる。(P288) </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○ロールプレイングや触れ合い体験、高齢者インタビューや実際の中学生の取組や地域の取組など、人との関わりについて考えることができるように工夫がされている。 ○各章末に学習のまとめを設けており、その中で「やってみたい、もっと知りたい、深く考えてみたい」と感じさせるように工夫がされている。 ○コラムや参考の記載が充実していて、実生活へつなげる意欲づけとなる。(P236) ○「中学生の取り組み」「先輩からのエール」「地域の取り組み」では、その後の生活にどのように繋げられているか、自身の課題を見つけ主体的に取り組めるように工夫がされている。(P72) </p> <p> <実践的体験的な活動の工夫> ○住生活分野「わたしたちの防災」として、8ページ分の災害への備え・対応、緊急避難場所、生活の立て直しなどが掲載されており、自分事として課題を捉えやすい。(P248) ○巻末の「生活の課題と実践」では、具体的な課題例が数多く実践しやすい。(P292) ○「電子レンジを使う場合」についての記載があり、実生活で生かすことができる。(P143) </p>	
資 料	<p> ○本文と資料は「参考マーク」で区別され、奇数ページの右上に学習内容の関連写真や名称、各ページ下には豆知識が掲載され、レイアウトに工夫がされている。 ○「1日にとりたい食品と重量」や「年齢別の幼児の手・足」など実物大写真や多様なデジタルコンテンツが参照でき、基礎縫い動画は左利きの生徒にも対応し、学習効果を高めるための工夫がされている。(P108、42) ○一日にとりたい食品と分量では、原寸大の写真を載せてあり、インパクトをもたせるとともに、分量のイメージが掴みやすく、量感覚を育てることを期待できる。(P108) </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○見開きごとに「学習の目標」が記載されている。 ○調理実習例では写真や図を使用し、衛生の注意事項のマークを表記したり、食物アレルギー物質を含む食材には黄色を付したり注意を促す表記がされている。 </p>	
総 括	<p> ○ガイダンスの後、A（家族・家庭生活）、B（衣食住の生活）、C（消費生活・環境）の順の内容の配列になっており、巻末に「生活の課題と実践」が掲載されている。 ○住生活における防災への意識のページが増量し、授業でも使用しやすいような流れ・課題が数多く掲載されている。(P248～255) </p>	

教科【外国語】・種目【英語】

<p>書名 項目</p>	<p>NEW HORIZON English Course</p>	<p>2 東書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○語彙は新出重要語と小学校からの既習語を合わせて800語を発信語彙として教科書に繰り返し使用することで定着を促す。 ○Sounds and Letters では、音と文字の関係を扱い、小学校での音声中心の学びから読み書きに移行できる。 ○Grammar for Communication で文法をわかりやすく解説している。デジタル教材では、解説動画や確認用クイズもある。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○スモールステップを採用しており、Unit の前半では短めの英文で音読や Activity での練習からの自己表現に取り組み、後半は Read and Think で読解から要約やリテリング・意見交換などの思考力や表現力育成のための活動を段階的に行う。 ○「読むこと」に特化した学習では、概要→詳細→意見交換というふうに関点を3度変えてポイントを絞って読む訓練をし、読解力から表現力までひきあげる工夫がある。 ○Unit の最終ゴールである Unit Activity では「目的・場面・状況」が明確に設定され既習事項を用いて表現活動を行う流れを重視している。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学びの見通しを立てられるように、各 Unit の冒頭に、単元を貫く問いやゴールの活動が明記されているので、目的意識をもって活動できる。 ○各学年とも「学び方コーナー」を設けて、学習者の自律を促す。 ○冒頭に学習の見通しが立てられ、巻末の「学習をふり返ろうー CAN-DO リストー」で何ができるようになっていくか確認できる。 ○身近な場面を扱った内容に加え、環境や共生、国際理解、人権問題などの今日的な課題を取り上げている。</p> <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○Real Life English では、実生活に即した場面設定がされて、各技能領域に特化した活動を通して、目的・場面・状況に合わせたコミュニケーション能力を伸ばせる。 ○ペアやグループで取り組む活動が多く、相手意識を培うことができる。 ○全学年巻末に「帯時間用 Small Talk」の表現リストがあるので、学習した内容を継続的に伝えていく活動ができる。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○巻末にワードリスト・ジャンル別補充単語集があり、語順カードも織り込まれている。 ○個別最適に学べるようにQRコンテンツに①Key Sentences(重要学習内容)の解説動画②本文再生③用例辞典を備えている。</p>	
<p>表 記 ・ 表 現</p>	<p>○小学校用教科書で使用している視認性と書きやすさに特化したユニバーサルデザイン書体を1年生では使用して、文字習得の負担を軽減している。2年生以降は活字体を使用。 ○1年生では単語にアクセントが明記され、発音記号は巻末、2、3年生はアクセント・発音記号を青色で併記している。小学校既習単語はマークでわかりやすく明記してある。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○Activity を軸として、英語でコミュニケーションできる喜びを実感することを重点に置いている。1ページ1時間で5領域の活動が単元に適切に配置してある。 ○小中接続を意識し、1年1学期に集中して小学校で扱った言語材料を整理することを強く意図している。高校に向けても本文の語数を段階的に増やして対応している。 ○デジタル教科書では、資料提示の他、音声の再生スピード調整、語句のマスク表示、書き込みや保存が可能。ルビや分かち書きができ、Google 翻訳と連携できる。</p>	

教科【外国語】・種目【英語】

書名 項目	Sunshine English Course	9 開隆堂
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各単元が次のような構成になっており、見通しを持って学習や振り返りができる。 「とびら」で目標の確認⇒「Scenes」で言語材料や使用場面の確認⇒「Think」や「Turning in」で題材について考える⇒「Review and Retell」で本文内容の振り返り⇒「Action」で既習事項をもとに自己表現活動⇒「英語早わかり」で文法事項のまとめと確認 ○「Scenes」がマンガ形式で言語の使用場面が明確になっており、文法事項の導入やペアでの口頭練習も行いやすい。また、そこで確認した言語材料を、「Listen」で確認でき、理解を深めやすい。 ○「Word Web」では言語活動で活用でき語彙力の強化につながる語句が記載されている。 ○1年生では「Get Ready」で小学校での学びや基本的な単語、英文の書き方を確認できるよう工夫されている。また、小学校での既習語が出現ページや巻末に記載されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○単元の各「Part」で題材内容について考え、「Review and Retell」で本文の内容を整理し、「Action」では自分の言葉で話す活動が設定されている。また、「Our Project」では、単元の既習事項を活用し、4技能を統合した活動を通し、思考力、判断力、表現力を高める構成となっている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「Our Project」では、協働学習を軸とし、対話を通して主体的に課題解決に向かう活動が設定されている。また、「地球市民」としての豊かな感性を育む題材を通して社会の多様性を理解し、世界に目を向けながら自国の文化や自身の考えを伝えようとする態度を育成するよう工夫されている。 ○各単元の「とびら」で学習の見通しを立てたり、各コーナーでの自己評価を重ねたりすることを通し、自分の学習を整理しやすい構成になっている。 </p> <p> <聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○5領域のうち主にどの活動を行うがアイコンで表され、目的や場面、状況を大切にしたい言語活動ができる。本文の内容を振り返る「Review and Retell」は、相手意識や目的意識を持った表現活動につながり、「Action」や「Our Project」などの単元末の活動に役立つよう工夫されている。 ○「Our Project」では、モデル文の理解・分析⇒構想を練る・メモの作成⇒リハーサル・原稿の修正⇒本番・振り返りという流れにより、まとまりのある英文での表現活動がスムーズに行えるよう工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○さし絵や写真が多く鮮明であり、生徒の学習意欲を向上させ、学習内容の理解を助ける。 ○「Turning in」では課の題材への興味付けを行う工夫がされている。 ○巻末資料にはCAN DO LISTやSmall Talk表現集、学年に応じた参考資料が洒列され、表現活動や学習理解の助けとなるよう工夫されている。 ○各ページにQRコードがついており、音声聞いて繰り返し学べるよう工夫されている。 </p>	
表 記 表 現	<p> ○読みやすく見分けやすい配色で記載されている。 ○発達段階に応じ、1年生では手書き書体や書き写しやすい書体、2年生以降は一般的な書体を使用されている。 ○紙面にゆとりがあり、日本語にUDフォントが使用され、見やすく読みやすい。 </p>	
総 括	<p> ○学習者用デジタル教科書・教材では、音声再生機能、フラッシュカード機能、行間調整機能により、どの生徒も安心して学習に取り組むことができる工夫がされている。 ○指導者用デジタル教科書では、複数の再生機能、目的に応じた表示方法、フラッシュカードのカスタマイズ・保存などが可能である。 </p>	

教科【外国語】・種目【英語】

書名 項目	NEW CROWN English Series	15 三省堂
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○語彙は新出重要語と小学校からの既習語を再掲語として太字で示し発信語彙としての定着を促せるように工夫をしている。 ○Scene では知的好奇心や発達段階に合った題材を取り扱ったストーリーを通して、音声から文字へ、繰り返し練習からコミュニケーション活動へ自然な流れで移行できるような活動が段階的に配列され、技能習得につながる工夫がなされている。 ○Language Focus では、授業で学んだ文法事項や文構造を整理して、この後活用できる場面を確認できる。文法解説動画での確認も可能となった。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○Small Talk や Small Talk Plus で習った言語材料を継続的に少しずつ自己表現につなげペアやグループでの表現活動を通して、相手意識が培われる。 ○各単元で Goal Activity で、単元で学んできたことを実生活の場面や状況を取り上げて自己表現できるように工夫されている。 ○巻末資料の Role-play Sheet も活用すると海外生活場面の疑似体験をしながら、表現力に繋げられる。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○が Lesson ごとに取り上げられているので、ストーリー自体が楽しめ、中学生の目線から国際理解や社会問題に目を向けるきっかけが作れる。 ○様々な観点で「学び方」を For Self-study で解説し、自律的な学習への手助けをする。 ○学びの見通しを立てられるように、Lesson の冒頭に背景説明・学習計画と何ができるようになるかという Goal Activity が示され、単元目標到達に向けた活動ができる。 ○言語活動にどのように取り組んだ後に「振り返り」の文言があり、自己調整して次の学びへつなぐことができる。 ○巻末に What Can I Do? という Can-Do リストが示され、各学年における目標を明示しており、生徒が自己評価できる。 </p> <p> <聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○各 Lesson に「読むこと」や「書くこと・話すこと」などの Goal Activity というコミュニケーション活動に取り組み、学期ごとに Project に取り組み、技能を組み合わせ、コミュニケーションに繋げる場がある。 </p>	
資 料	<p> ○冒頭に学習の手順を示す資料として「しくみと学び方」が示されている。 ○巻末にある Role-Play Sheet で、対話形式の運用練習をしやすくする工夫がある。 ○ワードリスト以外にも1年生には絵辞典、他はカテゴリー別単語リストがある。 ○教科書のQRコードから、本文アニメーションで授業の復習ができる他、600本の関連動画が見られる。発音指導では、聞いて確認するだけでなく、AIが発音採点してくれる。 </p>	
表記 ・ 表現	<p> ○1年生は手書きに近いユニバーサルデザイン系の独自書体を使用し、2、3年生は活字体を使用している。 ○1年生ではアクセントは黒色で付記、発音記号は巻末に青字、2、3年生は共に付記。 ○可読性や視認性に配慮し、誰にでも見やすい色の組み合わせ、濃淡を採用している。 </p>	
総 括	<p> ○知識や技能を身に付け、それを活用するまでの一連の過程が教科書に示され、が無理なく学習を続けることが期待できる。 ○デジタル教科書では、白黒反転、総ルビ表示など特別支援教育の視点で配慮されている。フリーハンドペンや付箋機能など紙の教科書と同様に学べるように工夫されている。 </p>	

教科【外国語】・種目【英語】

<p>書名 項目</p>	<p>ONE WORLD English Course</p>	<p>17 教出</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ レッスン毎に「Key sentence」として、各レッスンで学ぶ言語材料を提示してある。何のために使われる言語材料なのかが記載されており、意識を持って各レッスンの言語材料を学ぶことができる。繰り返し口頭練習しやすいよう、シンプルな文章が設定されている。 ○ 各レッスンのまとめとして「Grammar」というセクションがあり、レッスンで学習した言語材料について、あらためて確認・整理することができる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「Project」という単元では、学習した言語材料をもとに、クラスメイトにインタビューしたり、その情報をまとめたりする内容を扱っている。学習者は共同的に「Project」に取り組むことができ、対話的で深い学びにつながると期待できる。 <p><学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書巻末に「Can-Do リスト」がある。学習者も各観点で何を目標に英語学習を進めればいいのか、適宜確認しやすい。また、「CAN-DO リスト」を使うことで、授業者と学習者が同じゴールを共有して、授業を進めることができる。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「Activities plus」という単元で、コミュニケーション活動の基礎となるような例文が設定されている。質問に対する答えも、ただ答えるだけでなく、2文以上で答えられるようサンプルがある。生徒自身が主体的に取り組めるよう、「Small talk」等の活動の中で、2文以上で答える習慣を身に付けさせやすいよう工夫されている。 ○ レッソンのPart 毎にある「Think&Try」では、会話の練習を行いながら、ペアで自由にやりとりが行えるよう工夫されている。また、各Part に配置されているので、生徒もペアで話すこと [やりとり] を、1年間を通して積み重ねることができる。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の巻末に、テーマごとに文法項目がまとめられている。また、「Think&Try」のやりとりの例、分野別の用語集など自主的に復習しやすいように工夫されている。 ○ 各レッスンのQRコードを読み取ることで、レッスンの音声を確認することができる。繰り返しリスニングをしていく中で、本文の理解を深めていけると期待できる。 	
<p>表 記 ・ 表 現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文を読んでいく上で必要となる語彙等が、適切に提示されている。また、発音記号も記載されており、必要に応じて指導しやすい。字体も工夫されており、書く活動の際も、教科書の本文や新出単語を参考にしやすい。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Project」では「主体的に学ぶ力」を育成できるよう、テーマを設定がしてある。また「Think&Try」では[やりとり]等の言語活動を通して「対話的で深い学び」に繋がられるよう工夫されている。 ○ 学習用デジタル教科書は、録音・再生機能があり、自分の音声を確認しながら、学習を進めることができる。また、自分の音声を実際の音声と比較し、学習者自らが主体的に音声の確認・修正ができるよう工夫されている。 	

教科【外国語】・種目【英語】

書名 項目	Here We Go! ENGLISH COURSE	38 光村
内 容	<p> <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各単元が「扉」(話題の大筋)⇒「Part」(本文の詳細な読み取り)⇒「Goal」(単元の目標に応じた活動)で構成され、豊富なインプットから徐々にアウトプットに進むことで、無理なく学習事項の定着が図れるよう工夫されている。また、ラウンドシステムの授業にも対応しており、スパイラルに学習しながら「You Can Do It!」で統合的な活動が行える。 ○「Activity Grammar」では、語彙を増やし、文法の整理をまとめて行える。また、巻末の「学び方ガイド」では基本的な知識・技能が定着するよう工夫されている。 ○「Daily Life」では、実際の言語使用場面で役立つ領域統合型の活動が設定されている。 ○「Let's Talk!」や「Story Retelling」では、自分の言葉で表現する力や、実社会で役立つ即興力を身につけるために継続して取り組める活動が設定されている。 </p> <p> <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各単元の「Part」で目的や場面、状況を捉え、内容について理解を深めた後、「Goal」で単元に関連したまとまりのある英文を読み、考えたことを整理して発表する活動が設定されている。 ○「You Can Do It」では、「Unit」の既習事項を活用し、4技能を統合して、思考力、判断力、表現力を高めるために、話し合ったり発表したりする活動が設定されている。また、巻末では考えを整理するツールも記載され、生徒の活動の助けとなるよう工夫されている。 </p> <p> <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「英語の学び方」「ICTの活用」「教科書の構成」「各学年・各学期の目標」「前年度の学習内容の振り返り」が示され、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている。 ○「You Can Do It」ではUnitで学んだことを生かしたまとめの活動が設定され、記録に残す評価を行うことで、到達目標の達成度合いを見とることができるよう工夫がなされている。 ○「World Tour」では、多文化共生社会の担い手となる生徒の心を育む題材により、多様な見方、考え方を育てる工夫がなされている。また、「英語の学び方ガイド」では、英語学習の悩みや英語学習のポイント等、生徒が自ら学びに向かう力を滋養する工夫がなされている。 </p> <p> <聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫> ○未習語を含め、基本文や本文中の表現を繰り返し聞くことで、まとまった量の英文を聞き推測する力が定着するよう工夫されている。 ○生徒の興味をひくストーリー、読み取りのヒント、目的に応じたヒントにより無理なく読む力が定着するよう工夫されている。また、「Part」では、話したことをもとに書く活動が設定され、書くことに抵抗なく取り組めるよう配慮されている。 ○「Let's Talk」では帯活動で即興的なスピーキングの力を育てられるよう工夫されている。 </p>	
資 料	<p> ○登場人物が様々な体験を通して成長するストーリーは、生徒の興味をひき共感しやすい。 ○「Active Words」には表現活動のための語句が豊富で、Unitでの使用場面も記載されている。 ○各ページにQRコードがついており、音声聞いて繰り返し学べるよう工夫されている。 </p>	
表 記 ・ 表 現	<p> ○色覚の多様性に配慮し、強調すべき語を囲みの色と形で識別できるよう工夫されている。 また、手書き文字からブロック体、セリフ体に徐々に慣れるよう配慮されている。 ○学習の流れや文法事項が、情報のまとまりごとに余白や線で区切られ、明確で見やすい構成となっている。 ○取り上げる題材や登場人物に極端な偏りが無いよう配慮されている。 </p>	
総 括	<p> ○学習者用デジタル教科書では、音声の速度を調整したり、ハイライト表示をしたりするなどの配慮がなされている。 ○巻末の「英語の学び方ガイド」では、学年ごとに学習のアドバイスや、英文の書き方、読み方のヒントなど、学びに向かう力を育むための工夫が見られる。 </p>	

教科【外国語】・種目【英語】

<p>書名 項目</p>	<p>BLUE SKY English Course</p>	<p>61 啓林館</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ パートごとに「Target」として定着を図る言語材料が提示してある。言語材料の理解をしやすいよう、補助的に日本語の説明がある。 ○ 各 unit のまとめとして「Focus on form」というセクションがあり、言語材料の整理・確認をすることができる。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の最後に「Express Yourself」というページがあり、その単元で学習したことを生かし、自分の意見や感想を作り、発表することができる。また「tool box」として補助的に英単語リストが設けられている。 ○ 「Project」というセクションでは、身近な話題について考えられるようテーマ設定してある。その上で、自分の意見を英文で表現できるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「Let's talk」というセクションでは、日常会話にも通じる身近なテーマで構成されており、学習者が意欲的に取り組みやすい単元である。 ○ 教科書巻末に「Can-Do リスト」があり、生徒も各観点で何を目標に英語学習を進めればいいのか、適宜確認しやすい。このリストを使うことで、学習の達成度を自己評価できるよう工夫されている。 <p><聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の巻末付録には、話すこと [やりとり] の基礎となる表現が記載されている。授業の導入等で繰り返し口頭練習を行い、実際の場面で使えるように指導していくことができる。 ○ 各 Part に「Express Yourself」というセクションがある。全ての unit にあり、各 unit のまとめとして、取り組むことができる。話すこと [発表] に慣れていけるように短い表現を練習しながら、話すこと [発表] する経験を蓄積していけるよう工夫されている。 	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新出単語には、それぞれの単語の発音記号がついている。単語を書く練習だけでなく、口頭練習の際に活用できる。 ○ 各 unit のQRコードを読み取ることで、unit の本文、単語、言語材料についての説明があり、予習又は復習に活用することで、理解を深められるよう工夫されている。 	
<p>表 記 表 現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文を読んでいく上で必要となる語彙等が、適切に提示されている。また、発音記号も記載されており、必要に応じて指導しやすい。 ○ 英文、そしてその英文に関する写真が視覚的な補助として配置されているので、何について書かれているのか、想像しやすい。 	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各 unit に目標が書かれており、明確なゴール設定があるので、学習者としては「主体的」に英語学習に取り組むことができる。また、[やりとり]等の言語活動を通して「対話的で深い学び」ができるよう工夫されている。 ○ 学習用デジタル教科書は、音声機能が充実している。学習者が各自のペースで学びに取り組めるよう動画や音声のスピードを調整することもできる。 	

教科【特別の教科 道徳】・種目【道徳】

書名 項目	新編 新しい道徳	2 東書
内容	<p>＜学習指導要領の教科の目標に関わる工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全教材の冒頭に学習のテーマを設定し、教材末の発問と呼応させることで、教材全体を通して道徳的価値について考えを深めることができるよう工夫されている。 ○全教材に多様な意見を引き出せる箇所を中心発問とする「考えよう」と、教材から離れて自分を見つめる発問「みつめよう」の発問が用意されている。 ○教材末尾に「ぐっと深める」の問いがあり、人間としての生き方を深く考えられるよう工夫されている。また、巻末資料の心情円を活用することで、自分の考えや気持ちを可視化できるよう工夫されている。 <p>＜現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「いじめ問題」「生命の尊さ」ではユニット化し、全学年に複数の教材を設けている。 ○読み物教材だけでなく、ビジュアル教材（イラストや漫画）、グラフ等の教材も用意し、生徒の考えが深まるよう工夫している。 <p>＜発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全学年に〈NHK for School〉の番組ストーリーが用意されている。紙面と同じ内容の動画にも二次元コードからすぐにアクセスでき、文章を読むことが苦手な生徒にも楽しく授業に参加できるよう工夫されている。 ○発達段階に考慮して教材を配置することで、小学校との関連や学年間での連携を意識して取り組むことができ、生徒が自身の成長を実感できるよう工夫している。 <p>＜「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全教材に「つぶやき」が設けられ、記述した内容をもとに話し合いや振り返りに活用できるよう工夫されている。 ○身近な題材やソーシャルスキルに関する教材を通して、考えを深めたり、広げたりできるよう工夫している。 	
資料	<ul style="list-style-type: none"> ○すべての教材に二次元コードがあり、朗読音声や映像、デジタル心情円などを見ることができる。授業に役立つ、生徒の学びを支える様々なQRコンテンツである。 ○写真やポスター、グラフから考える教材や漫画を活用した教材など、多様な教材が掲載されている。また、コラムも充実しており、授業の導入や終末、自宅学習まで様々なタイミングで活用できるよう工夫されている。 ○イメージを広げる絵や写真が適所に掲載されている。絵や写真が大きめで印象に残りやすく、教材の理解を促したり、考えを深め広げたりできるよう工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○文字や資料が大きく、UDなど全ての生徒に使いやすい配慮がされている。 ○教材や挿絵についての人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○目次と教材冒頭に学習指導要領の4つの視点が色とマークで示されている。 ○巻末に現代的な課題等との関わりや他教科等との関連が示されている。 	
総括	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な教材や映像教材、3年連続教材、写真やイラストから考える教材、充実したコラムなど、深く考え対話をするを通して様々な考えに出会えるよう工夫されている。 ○巻末に設けられている心情円で、自分の考えを可視化できるよう工夫されている。 	

教科【特別の教科 道徳】・種目【道徳】

書名 項目	中学道徳 とびだそう未来へ	17 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">教出</div>
内容	<p> <学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○各教材に設定された「導入」の問いで学習の見通しをもち、ねらいとする道徳的価値や学習テーマを共有することで対話的な学びが始まるよう工夫されている。 ○教材末尾の「学びの道しるべ」では、構造化された3つの問い（問題意識を持つ、自分事として多面的・多角的に考える、自分を振り返りこれからの生き方について考える）により、無理なく道徳的価値について考えを深められるよう工夫されている。 ○「導入」の問いは生徒の日常と教材を関連付け、「学びのみちしるべ」では3つの問いを連携させることで段階的に考えを深められるよう工夫されている。 </p> <p> <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○多様な教材を通して、様々な視点から問題の本質について考えを深めていくことができるよう工夫されている。 ○深く考えさせたい「いじめ問題」「持続可能な社会」「生命の尊さ」は複数の教材とコラムでユニットを構成し、問題の本質を多面的・多角的に深められるよう工夫している。 </p> <p> <発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○巻頭オリエンテーションでは深く考え、話し合うためのポイントを示し、第一教材は生徒が自分の考えを持ちやすく活発な話し合いができる教材を設定している。 ○各学年で学校種間の連携や学年間での系統性を意識し、生徒の発達段階に即した教材を系統的に配置している。 </p> <p> <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○「やってみよう」では、直前の教材に関連した役割演技やリフレーミングなど体験的な学習を通して、学びが深められるよう工夫されている。 ○教材に適宜記入欄を設けることで、自分の考えをまとめ、記述した内容をもとに話し合いの充実や振り返りに活用できるよう工夫されている。 </p>	
資料	<p> ○写真や絵本、漫画など内容理解がしやすい多様な教材を用意することで、考える時間を十分に確保し、全ての生徒が話し合いに参加することができるよう工夫されている。 ○教材に適宜「ひろば」のページを設けることで、教材での学びを豊かに広げたり、さらに深めたり、他教科や特別活動の時間と関連付けられる多彩な内容を掲載している。 ○全教材に二次元コードがあり、教材開設や補足資料、ウェブツール（心情メーター）など、学習を支援する様々なコンテンツにアクセスできよう工夫されている。 </p>	
表記・表現	<p> ○UDなど全生徒に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵について人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○漢字や難解な言葉には振り仮名が付され、必要に応じて脚注で補足説明されている。 ○教材冒頭に学習指導要領の4つの視点を色と絵柄で区別して表現している。 </p>	
総括	<p> ○コンパクトで扱いやすいB5版であるが、文字や絵、写真が見やすく配列されている。 ○教材内容の理解がしやすい多様な教材、二次元コードから心情メータを読み込み思考を可視化して対話を促す、ねらいとする道徳的価値について学べるよう「学びの道しるべ」の設定等、主体的・対話的で深い学びを実現する構成になるよう工夫している。 </p>	

教科【特別の教科 道徳】・種目【道徳】

書名 項目	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	38 光村
内容	<p> <学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○1時間の学習過程がわかる「てびき」があり、何を学ぶのか意識付けできるよう工夫されている。2つの問いで考えをより深めることができるよう工夫されている。 ○教材末尾の「考えよう」に学習のテーマを明示している。また、課題の設定や中心となる発問により、道徳的価値の意義や意味について考えを深めることができるよう工夫されている。 ○教材末尾の「考えよう」の問いの他に、生徒が多面的・多角的な見方や考え方ができる問いを設定したり、「つなげよう」では日常生活や他教科と関連して考えたりすることを通して、自分の考えが深まるよう工夫されている。 </p> <p> <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○生徒自身に関わる身近な問題を取り上げた教材が豊富に盛り込まれ、生徒が自ら問いを立て、考えられるよう工夫されている。 ○「いじめ問題」では全学年にいじめを許さない心について考えるユニットを設けたり、「生命の尊さ」では全学年に3教材ずつ用意し、様々な観点から生命について考えたりするよう工夫されている。全学年に「防災」をテーマにした教材を掲載し、生徒の防災意識を高められるよう工夫している。 </p> <p> <発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○全学年で学びのポイントを示すことで、生徒が自ら何を学ぶのかを意識し、主体的・対話的に学習に取り組めるよう工夫している。 ○各学年で小学校との関連や学年間での連携が扱われ、生徒の思考が深まり、自分自身の成長を実感できるよう工夫されている。 ○「人権」について各学年3つの教材とコラムで構成し、系統立てて掲載している。 </p> <p> <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○他者との対話を通して新たな考えを生み出したり、道徳的価値に対する考えが深められたりするよう工夫されている。 </p>	
資料	<p> ○二次元コードが付いている教材では、朗読音声や教材の補足資料などをウェブサイトで見ることができる。二次元コードの内容を記載し活用しやすいよう工夫している。 ○巻末の折り込みに「まなびの記録」が用意され、目標に照らし合わせた振り返りを行うことで、生徒が自分自身の成長を実感できるよう工夫している。 </p>	
表記・表現	<p> ○UDなど全生徒に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵について人権の配慮や多様性の配慮がされている。 ○目次と教材冒頭に学習指導要領の4つの視点が色とマークで示されている。 ○巻末に現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関連が示されている。 </p>	
総括	<p> ○イラストが柔らかい色合いとタッチで描かれ、親しみやすくなるよう工夫されている。 ○「見方を変えて」や「つなげよう」で他教科や日常生活につなげて自分事として捉えられるよう工夫されている。 ○協働的な学びが実現できるよう自ら問いを立て、考える教材が設けられている。 </p>	

教科【特別の教科 道徳】・種目【道徳】

書名 項目	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート	1 1 6 日 文
内容	<p> <学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○第一教材では道徳は何をどう学ぶ教科なのか丁寧に説明し、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫されている。 ○各教材の冒頭に「学びのキーワード」を明示し、見通しをもって学習に臨めるよう工夫されている。教材末尾には「考えてみよう」でねらいに迫るための中心発問を示し、また「自分にプラスワン」の発問を通して学んだことを今後の生き方に生かし、道徳的価値を自分との関わりで理解できるよう工夫されている。 ○別冊の「道徳ノート」が付属しており、年間を通して使用することで自分の成長を実感できるよう工夫されている。また、学びながら、自分や他の生徒が気付いたことや考えたことを記入することができ、思考を整理したり、広い視野から自分を見つめられたりできるよう工夫されている。 </p> <p> <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○いじめでは生徒が主体的に考えられる教材・コラムでユニット構成し、適切な時期に配置するよう工夫している。いじめの事例を直接的に扱った教材と違う視点から間接的に考える教材、知識を深めるものとスキルを身に付けるコラムの二段構えになっている。 ○全学年で「多様性の尊重」に関わる教材を掲載し、共生社会や人権教育、相互理解に関わる内容について、自他の尊重への意識を高められるよう工夫されている。 </p> <p> <発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○3年間で系統的・発展的な学習ができるよう、各学年でテーマが設定されている。(1年生「であう」、2年生「みつめる」、3年生「ひらく」) ○各学年で小学校との関連や学年間での連携が扱われ、生徒の思考が深まり、自分自身の成長を実感できるよう工夫されている。 </p> <p> <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○「学びを深めよう」のページでは問題解決的な学習や体験的な学習を通して、学びの見通しや思考の広がり・深まりにつながるよう工夫されている。 ○対話的・協働的な学びが積み重なるよう工夫されている。 </p>	
資料	<p> ○人物教材や漫画教材、ダイナミックなビジュアル教材、多様な意見を促す教材、定番教材など多様な教材が掲載されている。定番教材では文字数・ページ数を減らし、挿絵をリニューアルすることで内容理解の補助になるよう工夫されている。 ○全教材に二次元コードがあり、朗読音声や心情メーター、思考ツールを活用でき、人物関係図や補足教材などをウェブサイトで見ることができる。 </p>	
表記・表現	<p> ○UDなど全生徒に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵について人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○目次と教材冒頭に学習指導要領の4つの視点が色とマークで示されている。 </p>	
総括	<p> ○コンパクトで扱いやすいB5版で、全教材を見開き単位に統一されている。 ○二次元コードを活用して思考を可視化するツールや別冊の道徳ノート等を活用することで、自らの成長を実感したり、共同的な学びを積み重ねられるよう工夫されています。 </p>	

教科【特別の教科 道徳】・種目【道徳】

書名 項目	新版 中学生の道徳 明日への扉	224 学研
内容	<p> <学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○巻頭で多様な学び方、思考ツールの使い方、ICT活用に関する紹介がされている。また、「考えを深める4つのステップ」を通して、道徳的価値を自分との関わりで学びを深めるよう工夫されている。 ○特設ページ「クローズアップ」では、教材に関連した情報や異なる視点からの関連情報を扱い、教材をさらに多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。 ○教材の後に適宜「深めよう」があり、対話的な活動を通して道徳性の育成につながるよう工夫されている。教材末尾の「考えよう」に2つ発問があり、道徳的価値の意義や意味について考えを深めたり、話し合いが活性化されたりできるよう工夫されている。 </p> <p> <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「いのち」を最重点テーマとし、各学年で3本ずつ配置している。 ○多様性を大きなテーマとし、多面的・多角的に考えを深められる教材が掲載され、多様な考えを引き出せるよう工夫されている。 </p> <p> <発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○発達段階や生徒の問題意識を尊重し、主体的に考え、他者と活発に意見交換できるよう協働的に学び、工夫された紙面と構成になっている。 ○同じ内容項目を複数設けることにより思考が深まり、自分自身の成長を実感できるよう工夫されている。 </p> <p> <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○学びながら、気が付いたことや考えたことを記入するメモ欄を教材の随所に配置し、思考が整理できるよう工夫されている。 ○「考えを深める4つのステップ」として問題解決的な学習の手立てを示し、生徒が考えを深める学習過程が工夫されている。 </p>	
資料	<p> ○長年愛される定番教材や、写真やグラフから考える教材、漫画や紙芝居を活用した教材など、多様な教材が掲載されている。教材の冒頭に教材への関心を掻き立て、生徒を教材へスムーズに導くキーフレーズが記されている。 ○イメージを広げる絵や写真が適所に掲載され、教材の理解を促すよう工夫されている。 ○二次元コードが付いている教材では、朗読音声や教材の補足資料などをウェブサイトで見ることができる。 </p>	
表記・表現	<p> ○UDなど全生徒に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵について人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○目次と教材冒頭に学習指導要領の4つの視点が色とマークで示されている。 ○巻末に現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関連が示されている。 ○漢字や難解な言葉には振り仮名が付され、必要に応じて脚注で補足説明されている。 </p>	
総括	<p> ○親しみやすいイラスト、柔らかい色使いやタッチで描かれている。 ○教材を基に、他者との対話を通して自分事として多面的・多角的に考えを深められるよう、現代的な課題について議論できる手立てが提示されている。 </p>	

教科【特別の教科 道徳】・種目【道徳】

書名 項目	中学生の道徳	2 3 2 あか図
内容	<p> <学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○ねらいがぶれないようにするために学習活動がイメージできる授業の流れを意識した発問が設定されている。教材末尾の「自分との対話」は、教材での学びを踏まえて、自分自身や道徳的価値について考えられるよう工夫されている。 ○教材ごとに主体的な学びを促すための「自分を見つめて考える」と対話的な学びを促すための「いろいろな見方で考える」の発問を通して、生徒は自分事として捉え、自らの生活を振り返られるよう工夫されている。 </p> <p> <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「生命尊重」「いじめ防止」は最重要課題と位置付けている。現代的課題については重点的に学習を深められるようユニット化し、学年ごとに連続して複数の教材を設けたりこのユニットを3年間で展開し、発達段階に合わせて教材を配置したりすることで、連続して学びを広げ、深められる構造になっている。 ○いじめ問題については、5、6月に重点的に学習できるよう配置している。 </p> <p> <発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○各学年の冒頭には授業開きとして、今の自分を見つめる「道徳 はじまりの時間」を設け、発達段階に合わせて生徒が最初に出会う教材を配置し、今の自分を見つめ、1年間の道徳科の学びの指針になる内容になっている。 ○思考を深める紙面の流れとねらいに迫る発問が設定され、生徒の思考が深めるよう工夫されている。 </p> <p> <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○各学年で「オリエンテーション」を設け、22の内容を示しながらどんな内容をどのように学ぶのか、目的をもって学びに向かうことができるよう工夫されている。 ○各学年に「マイ・プラス」が3本ずつ設けられている。役割演技や話し合いを取り入れて、生徒が様々な視点から考えを深められるよう工夫されている。 </p>	
資料	<p> ○読み継がれてきた教材や、写真やグラフから考える教材、漫画や詩を活用した教材など、生徒の心に触れ、揺さぶる授業が実践できる多様な教材が掲載されている。 ○二次元コードが付いている教材では、導入や終末用の動画や教材の補足資料などをウェブサイトで見ることができる。 </p>	
表記・表現	<p> ○UDフォントや色の識別等、全ての生徒にとって使いやすい配慮がされている。 ○教材や挿絵には登場する男女のバランスが考慮され、スラックス姿の女子を描いており人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○教材冒頭に、学習指導要領の4つの視点が色とマークで示されている。 ○巻末に現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関連が示されている。 </p>	
総括	<p> ○柔らかい絵のタッチで親しみやすく、明るい印象になるよう工夫されている。 ○各学年に役割演技や問題解決的な学習、体験的な学習などができる工夫がされている。 ○現代的な課題に向き合えるよう発達の段階に応じた教材の配置と、多面的・多角的に考えられる視点を持ち、学びを広げ、深められるよう工夫されている。 </p>	

教科【特別の教科 道徳】・種目【道徳】

書名 項目	道徳 中学校	2 3 3 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">日科</div>
内容	<p> <学習指導要領の教科の目標に関わる工夫> ○内容項目「4つの視点」をもとに、発達段階別に思考のテーマを設けている。教材末尾に2つの問いがあり、「考えよう」では道徳的価値を多面的・多角的に考える力を育み、「深めよう」では自分の見方や考え方が変わったり深まったりすることが実感できるよう工夫されている。 ○巻末にある「ウェルビーイングカード」を活用することで自己を見つめ直したり、互いの考えを可視化することで他者との対話を深めたりできるよう工夫されている。 </p> <p> <現代的な課題などの題材を教材として取り上げる上での工夫> ○「情報モラル」では身近に起こりうるネットトラブルからどう身を守るかを喫緊の課題と捉え、現実味のある教材を配置し、生徒自身に考えさせるよう工夫されている。 ○「いじめ問題」では直接的・間接的な形のテーマを扱い、特に学校生活の中で陥りやすい場面を掲載し、自分事として捉えられるよう工夫されている。 </p> <p> <発達段階に即しつつ、深く考えることができ、ねらいを達成する工夫> ○教材は学習指導要領の内容項目順に配置することで、発達段階や学校生活、啓発デー及び他教科との関連で、自由に組み換えができるよう工夫されている。 ○1年生は自己理解、2年史絵は自己啓発、3年生は自己実現をテーマとした教材を設定し、自分の個性や適性をとらえ、社会で生き抜く力が育てられるよう工夫されている。 </p> <p> <「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫> ○他者との対話を通して、みんなが違う当たり前を共有し、違う意見を認め、話し合い、深く考えることのできるような視点もてるよう工夫されている。 ○「思考」重視への転換をするため、自分自身への「問い」から「見方・考え方」を深める教材、話し合いをもとに問題解決ができるような発問が工夫されている。 ○全教材にメモ欄を設け、記述した内容をもとに話し合いや振り返りに活用できるよう工夫されている。 </p>	
資料	<p> ○動画や漫画を活用した教材、写真やグラフから考える教材、自分の考えを書き込む教材、先人や各方面で活躍する人から学ぶ人物教材など、多彩な教材を掲載し、生徒が楽しく、多角的に学べるよう工夫されている。 ○二次元コードが付いている教材では、導入や終末用の動画や教材の補足資料などをウェブサイトで見ることができる。 </p>	
表記・表現	<p> ○UDなど全生徒に使いやすい合理的配慮、教材や挿絵について人権的配慮や多様性の配慮がされている。 ○教材冒頭に学習指導要領の4つの視点が色とマークで示されている。 ○漢字や難解な言葉には振り仮名が付され、必要に応じて脚注で補足説明されている。 ○目次で現代的な課題等との関わりについて、様々なテーマで系統的に示されている。 </p>	
総括	<p> ○大小様々な挿絵や写真があり、イラストは全体的に淡い配色とタッチで描かれている。 ○主体的・対話的で深い学びに対応するため、各学年の巻末の「ウェルビーイングカード」を活用し、生徒の考えを引き出し話し合いが活発になるよう工夫されている。 </p>	